

ARCHITREND ZERO シリーズ

Q & A

配置図？



「配置図」の
お困りごと

お困りごとを解決！

疑問に思っていることを
わかりやすく解説します。



目次

Q：敷地求積図がある場合の敷地の入力方法	1
Q：辺の長さだけ分かっているときの敷地の入力方法	5
Q：測量図の座標値を使った敷地の入力方法	6
Q：敷地を座標入力するときに、Excelの座標一覧を読み込む方法	8
Q：PDFデータを利用して敷地を入力する方法	10
Q：曲線のある敷地の入力方法	14
Q：用途地域の設定について	17
Q：2つの用途地域にまたがる場合の敷地の入力方法	19
Q：敷地の一部を下げる方法	22
Q：高度地区の設定方法	24
Q：敷地境界線の距離の丸め、小数桁数を変更する方法	26
Q：道路境界線・隣地境界線などの文字や距離を移動する方法	28
Q：ベンチマーク（BM）の入力方法	29
Q：配置図1面を2面に複写する方法	31
Q：配置図に平面図を取り込む方法と平面図の変更を反映させる方法	32
Q：配置図をカラーに変更する方法	37
Q：1/200で作成した図面を1/100で印刷する場合に、文字が大きくなるようにする方法	39
Q：建物から敷地までの距離を変更する方法	43
Q：建物から離れた位置に敷地がある場合に、建物から敷地までの距離を指定して敷地を移動する方法	45
Q：建物区画と敷地境界線を平行にする方法	48
Q：道路の作成方法	50
Q：歩道、側溝、水路の入力方法	53
Q：幅員の異なる道路の入力方法	57
Q：道路境界線の設定方法	58
Q：みなし道路の設定方法	61
Q：道路を下げたときにできる敷地と道路の隙間を埋める方法	63
Q：アプローチを傾斜にする方法	65
Q：三斜区画と敷地面積表の作成方法	67
Q：三斜区画を入れ直したときに、符号が通し番号になるように再設定する方法	69
Q：直角座標法の面積表を作成する方法	71
Q：平均地盤面の出し方	73

Q : 玄関ポーチを建築面積表に含める方法	77
Q : 階段部分に吹抜の床面積区画が自動配置される理由について	78
Q : 建築面積求積図、床面積求積図で、区画の符号の並び順を変更する方法	80
Q : 増築部分だけの床面積表を作成する方法	82

配置図

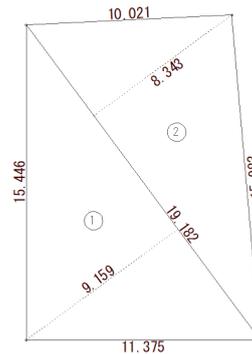


敷地求積図があります。敷地の書き方を教えてください。



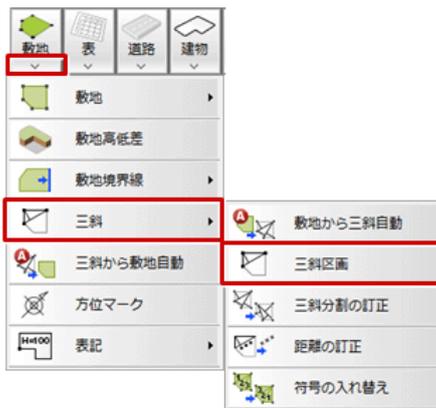
「敷地」メニューの「三斜」の「三斜区画」を使用して、敷地を作成します。

ここでは、右図のような敷地求積図がある場合を例に、解説します。

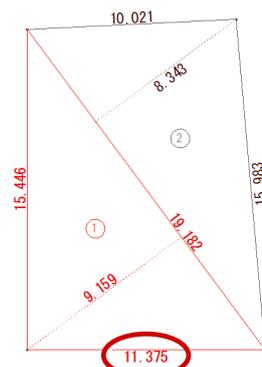
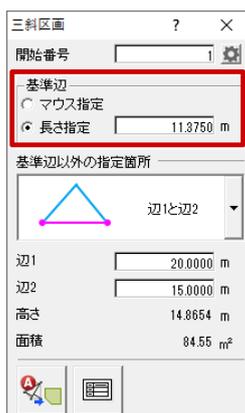


敷地面積			
	底辺 (m)	高さ (m)	積面積 (㎡)
①	10.021	8.343	41.75
②	11.375	9.159	48.55
積面積計			90.30
敷地面積 (㎡)			90.30

1 「敷地」メニューから「三斜」の「三斜区画」を選びます。

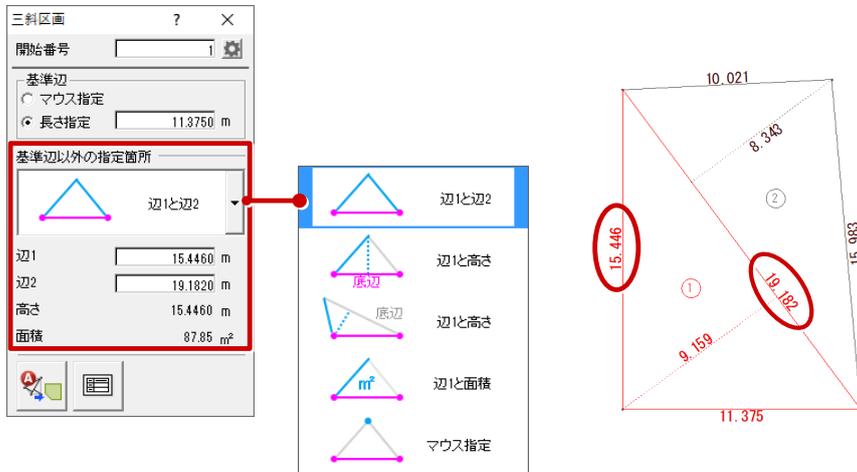


2 「三斜区画」ダイアログの「基準辺」で「長さ指定」をONにして、基準辺の距離を設定します。



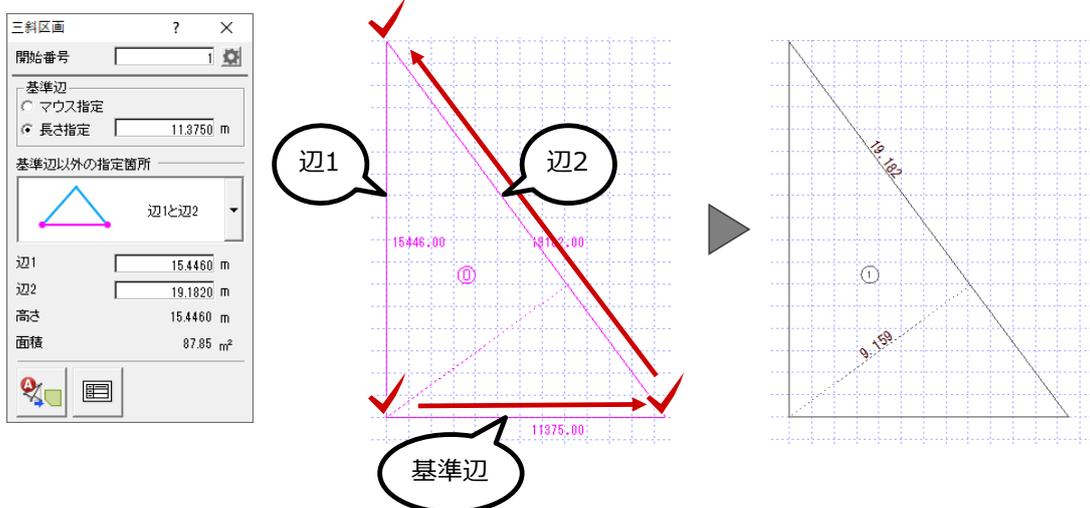
マウス指定	既に入力済みの線分を基準辺とする場合や、基準辺の頂点がわかっている場合に選択します。
長さ指定	最初の辺の長さがわかっている場合に選択します。

- 3** 「基準辺以外の指定箇所」で、基準辺以外にわかっている情報の入力方法を選びます。
 ※ 三角形のどの部分の情報があるかによって指定箇所のタイプを選びます。
 なお、底辺と高さのみの情報では三角形の形が確定できないため、三斜区画を作成できません。
 ここでは、「辺 1 と辺 2」を選び、三斜区画の残り 2 辺の距離を「辺 1」「辺 2」に設定します。



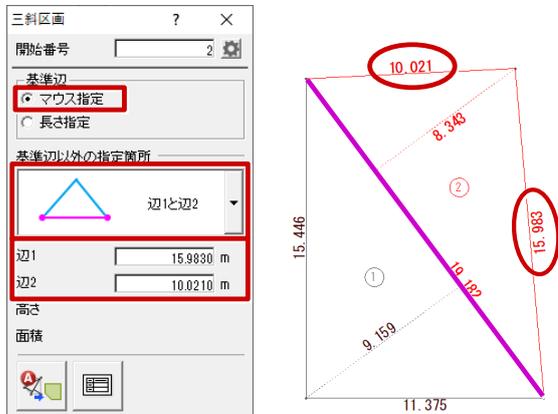
	辺 1 と辺 2	3 辺の長さ（基準辺の長さと 2 辺の長さ）がわかっている場合に選択します。
	辺 1 と高さ (底辺)	基準辺が底辺となるときの高さと 1 辺の長さ、三斜区画の高さがわかっている場合に選択します。
	辺 1 と高さ	基準辺が底辺とならないときの高さと 辺 1 の長さ、三斜区画の高さがわかっている場合に選択します。
	辺 1 と面積	基準辺の長さと 1 辺の長さ、三斜区画の面積がわかっている場合に選択します。
	マウス指定	三斜区画をマウスで指定する場合に選択します。

- 4** 基準辺の始点と方向、三斜区画の方向の順にクリックします。
 「長さ指定」で設定した長さ、「辺 1」「辺 2」で設定した長さの三斜区画が作成されます。

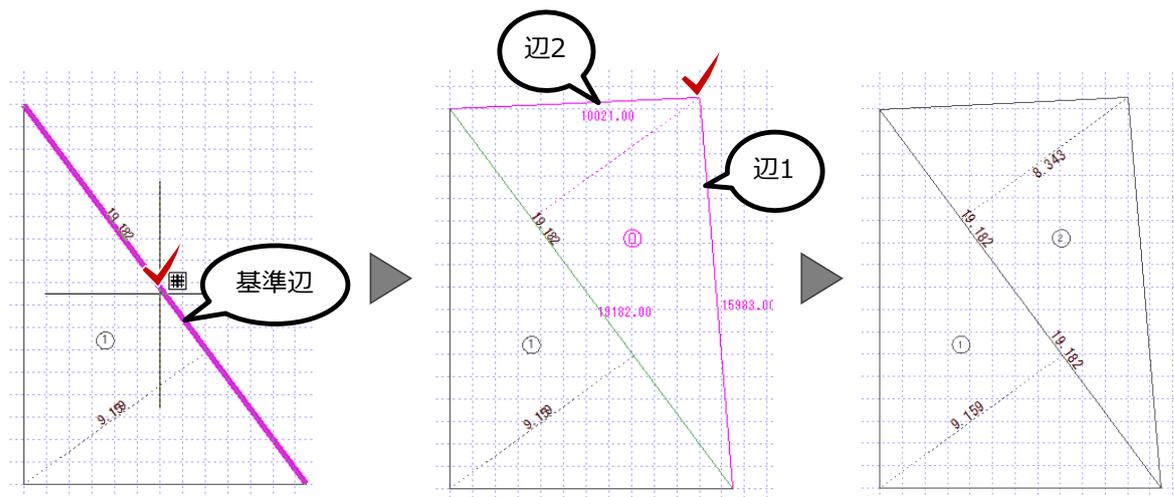


5 続けて「三斜区画」ダイアログの「基準辺」で「マウス指定」をONにします。

6 「基準辺以外の指定箇所」は、そのまま「辺1と辺2」を使用して、三斜区画の残り2辺の距離を「辺1」「辺2」に設定します。



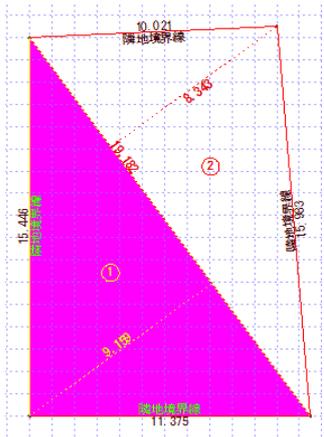
7 基準辺として、作成した三斜区画と接続する辺をクリックします。続けて、ラバーバンドを確認しながら三斜区画の方向をクリックします。



8 「敷地」メニューから「三斜から敷地自動」を選びます。



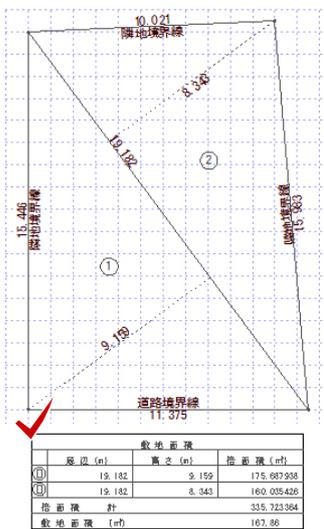
9 「敷地面積表」ダイアログの「OK」をクリックします。



符号	底辺(m)	高さ(m)	倍面積(m ²)
1	19.182	9.159	175.687938
2	19.182	8.343	160.035426
倍面積 計			335.723364 (m ²)
面積 計			167.86 (m ²) (50.77 (坪))

OK キャンセル

10 敷地面積表の配置位置をクリックします。



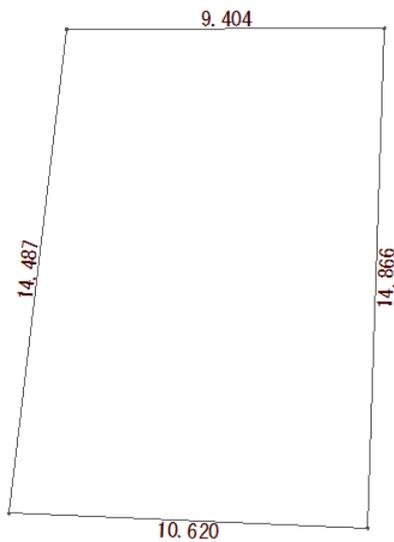
配置図

Q

敷地の辺の長さだけ分かっているときの、敷地の入力方法を教えてください。

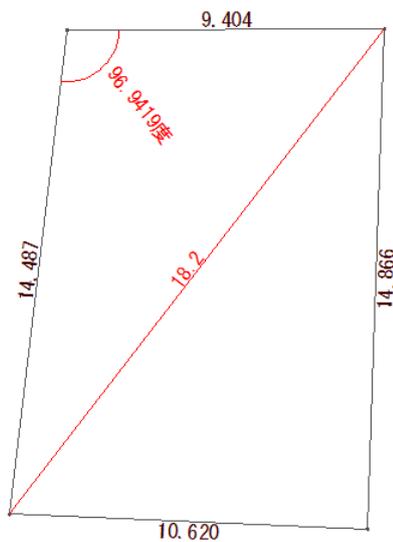
A

辺の長さだけでは正確な敷地の入力はできません。
手で斜線の長さや角度を求め、それを元に三斜区画を入れる方法になります。



【敷地の入力が不可】

辺の長さだけでは三斜区画
が作成できない



【敷地の入力が可能】

斜線の長さや角度を求めること
で三斜区画が作成できる

配置図



測量図があります。座標値を使った敷地の書き方を教えてください。



「敷地」メニューの「敷地」の「敷地座標入力」を使用して、敷地を作成します。

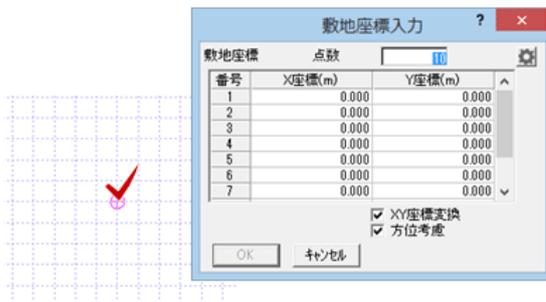
地番	10-1	
No	Xn	Yn
1	1370.915	1592.500
2	1386.839	1591.134
3	1386.360	1581.124
4	1370.915	1581.125

【座標】

- 1 「敷地」メニューから「敷地」の「敷地座標入力」を選びます。



- 2 基準点をクリックすると、「敷地座標入力」ダイアログが表示されます。



- 3 「敷地座標入力」ダイアログで、「点数」を「4」と入力し、「X座標 (m)」「Y座標 (m)」項目の単位がmになっているのを確認します。

- 4 測量のデータを基に座標を入力するときは、「XY座標変換」はONにして、そのままのXとYの座標値を入力します。

- 5 入力されている方位マーク（傾き）を考慮する場合は「方位考慮」をONにします。



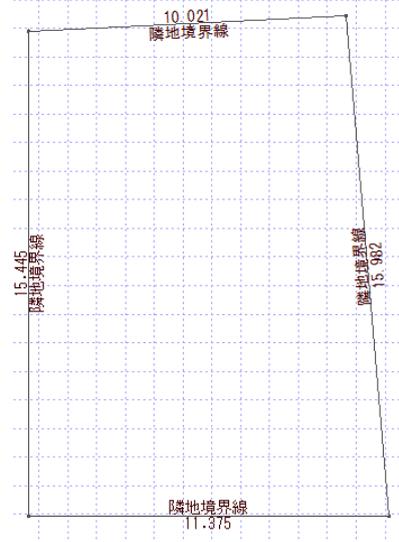
● お手元の測量図の値が「mm」単位表示の場合には、配置図の「専用初期設定：丸め・マーク設定-設定1」の「敷地座標」で単位をmmに変更します。

● 方位マークが入力されている場合に、「方位考慮」をONで敷地を座標入力すると、方位マークに合わせて敷地が回転して配置されます。

6 座標値を参照しながら、「敷地座標入力」ダイアログの各番号に座標値を入力して、「OK」をクリックします。

地 番 10-1		
No	Xn	Yn
1	1370.915	1592.500
2	1386.839	1591.134
3	1386.360	1581.124
4	1370.915	1581.125

番号	X座標(m)	Y座標(m)
1	70.915	92.500
2	86.839	91.134
3	86.360	81.124
4	70.915	81.125



- 指定した座標値が入力可能な範囲を超える場合、「敷地座標処理」ダイアログが表示されます。「はい」をクリックすると、入力可能な範囲に座標が変換され、「敷地座標入力」ダイアログに戻るので、確認して再度「OK」をクリックします。

- 座標値の最初と最後が同じ値の場合、最後の座標値は「敷地座標入力」ダイアログの点数に含めません。次図の場合、点数を5にして入力すると、メッセージが表示され敷地を入力できません。

地 番 10-1		
No	Xn	Yn
1	1370.915	1592.500
2	1386.839	1591.134
3	1386.360	1581.124
4	1370.915	1581.125
5	1370.915	1592.500

- 座標値は、必ず時計回りか反時計回りに入力します。1→3→2→4 など、適当な順に座標値を入力すると、メッセージが表示され敷地を入力できません。

配置図



敷地を座標で入力するときに、Excel の座標一覧を読み込む方法を教えてください。



Excel の座標データを直接取り込む機能はありません。あらかじめ Excel で座標をコピーし、「敷地座標入力」ダイアログに座標を貼り付けて敷地を入力します。

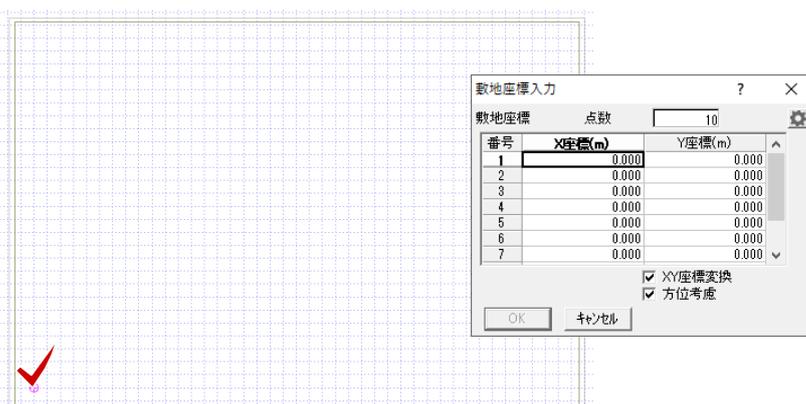
- 1 Excel の画面で X 座標、Y 座標の値をコピーしておきます。



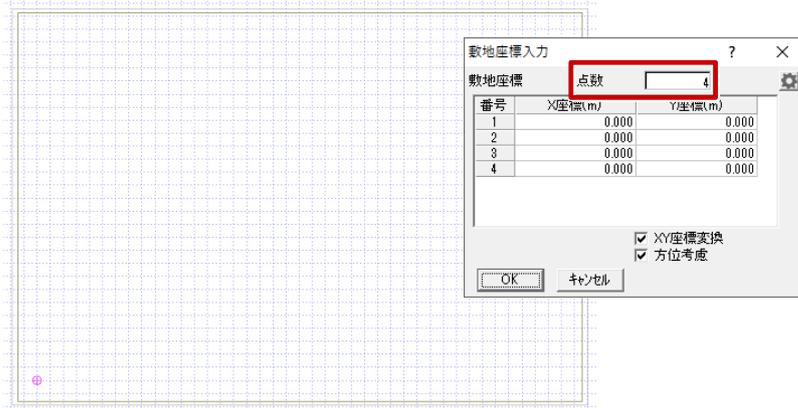
- 2 配置図を開き、「敷地」メニューから「敷地」の「敷地座標入力」を選びます。



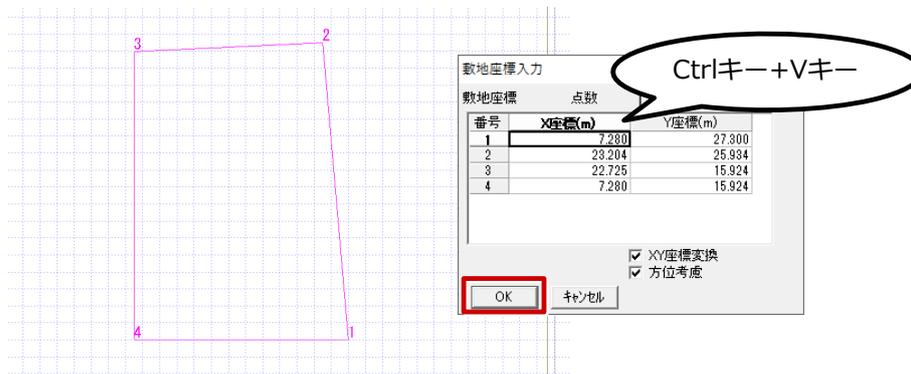
- 3 敷地座標の基準点をクリックします。



4 ここでは座標は番号 4 までのため、ダイアログの「点数」を「4」に変更します。



5 「X座標」の番号1のセルをクリックして、CtrlキーとVキーでコピーしたExcelの座標を貼り付けて、「OK」をクリックします。



配置図



PDFデータを利用して敷地を入力する方法を教えてください。

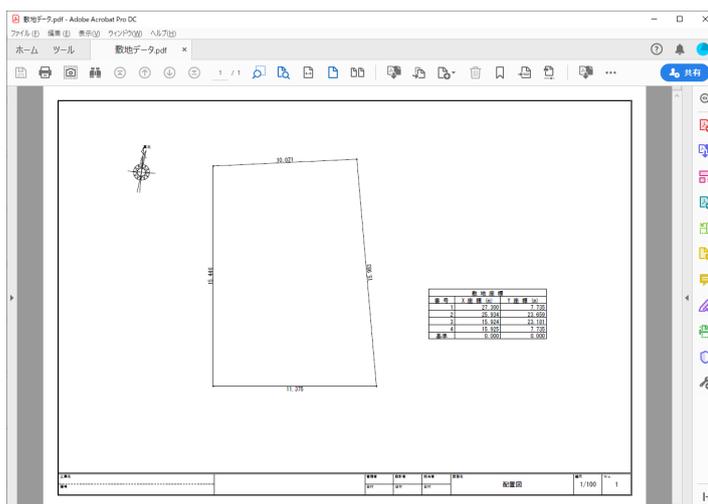


「画像」メニューの「スクリーンショット」でPDFデータを画像として貼り付け、それを下図にして敷地を入力します。
※読み込んだデータは画像データのため、正確な敷地は入力できません。

PDFをキャプチャーして画像として貼り付ける

1

あらかじめ、取り込むPDFデータを開いておきます。
※「スクリーンショット」は、コマンドを選択する直前の画面が対象となります。

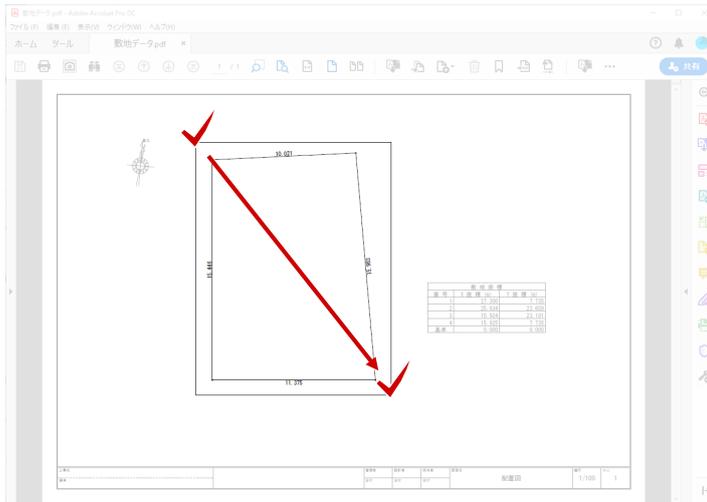


2

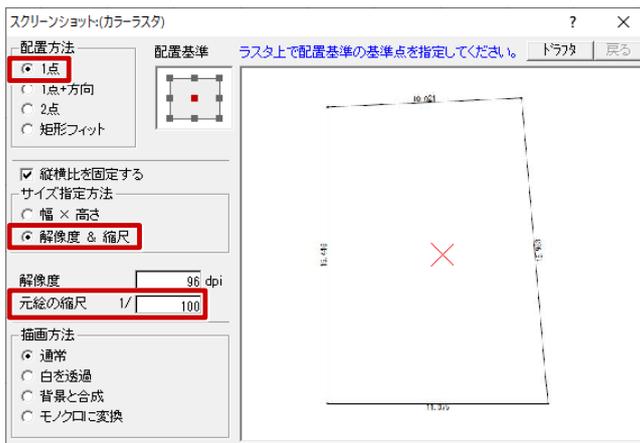
「画像」メニューから「スクリーンショット」を選びます。



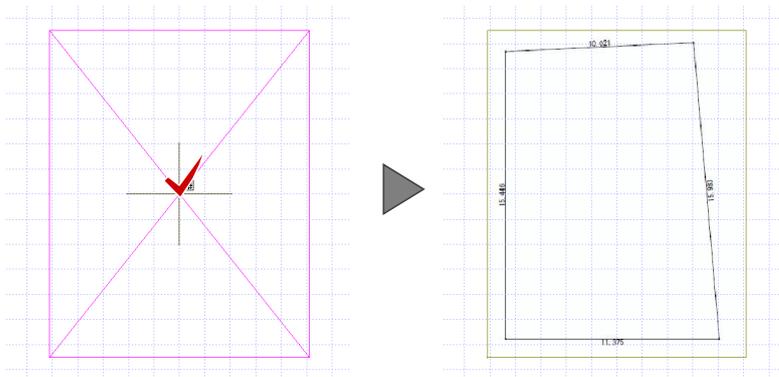
- 3 手順 1 で表示した画面に戻り、モニタ全体が白くなります。画像として配置する範囲をドラッグします。



- 4 ZERO の画面に戻り、「スクリーンショット」ダイアログで画像の配置条件を設定します。ここでは、「配置方法」を「1点」、「サイズ指定方法」を「解像度&縮尺」にして、「元絵の縮尺」を設定します。



- 5 画像の配置位置をクリックします。



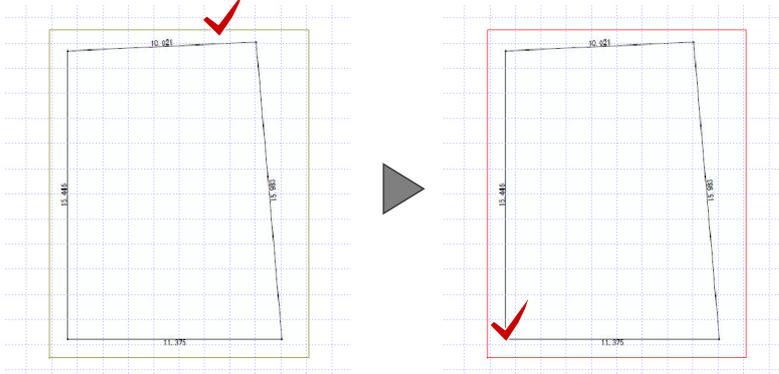
画像のスケールを合わせる

※ 画像データはピック対象外となるため、正しい寸法の値にはなりません。

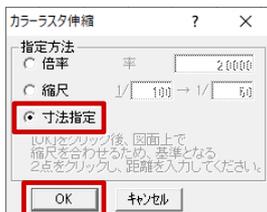
1 「画像」メニューから「伸縮」を選びます。



2 対象の画像をクリックして、伸縮する基準点をクリックします。



3 「カラースタ伸縮」ダイアログの「寸法指定」をONにして、「OK」をクリックします。



4 ピックモードを「フリー」にして、図面上で寸法がわかっている2点をクリックします。

5 指定した2点間の距離を入力して、「OK」をクリックします。

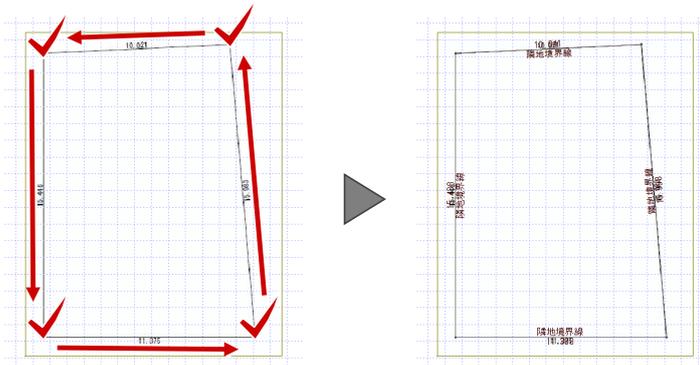


敷地を入力する

1 「敷地」をクリックします。



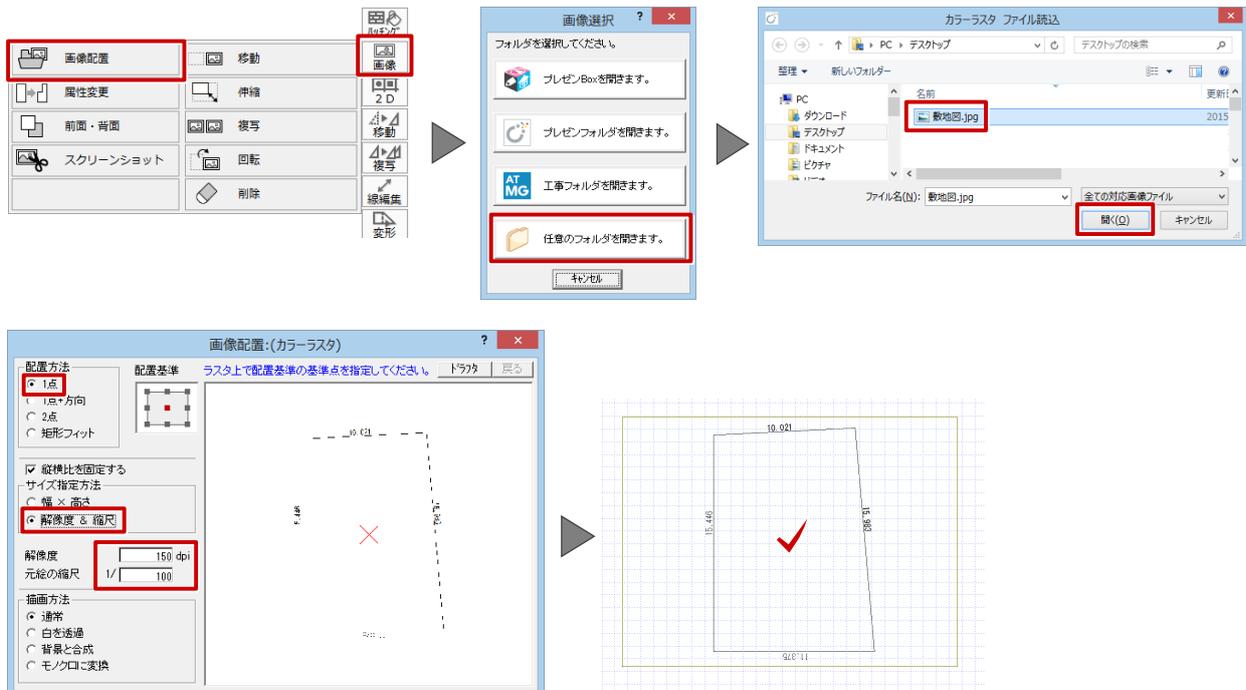
2 配置した画像を下図にして、敷地の角を順にクリックします。
 ※ ピックモードは「フリー」のまま、だいたいの位置を指定します。



画像データを利用して敷地を入力するには

・JPEG などの画像データを利用する場合は、「画像」メニューの「画像配置」で画像ファイルを読み込みます。読み込み可能なファイルは、BITMAP (*.bmp;*.dib)、JPEG (*.jpg;*.jpeg)、PNG (*.png)、TIFF (*.tif;*.tiff) です。

画像を配置後にスケールを合わせ、それを下図にして敷地を入力します。



配置図

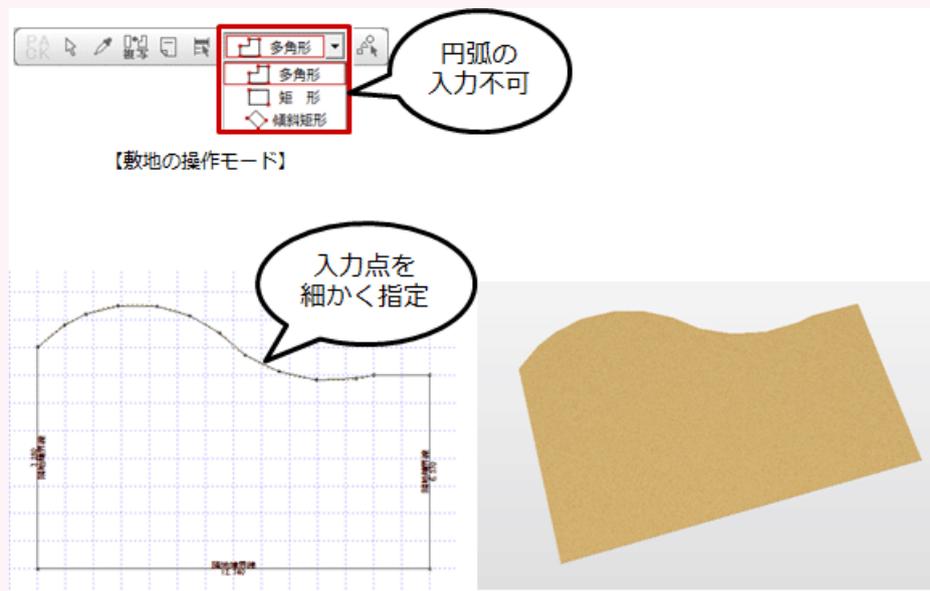
Q

曲線のある敷地を入力できるか教えてください。

A

曲線のある敷地を入力することはできません。
 疑似的な円弧となるように入力点を細かくとって敷地を入力してください。

※曲線のある敷地は入力点が細かく取られるため、斜線や天空率を検討することはできません。



曲線部分の補助線を入力する

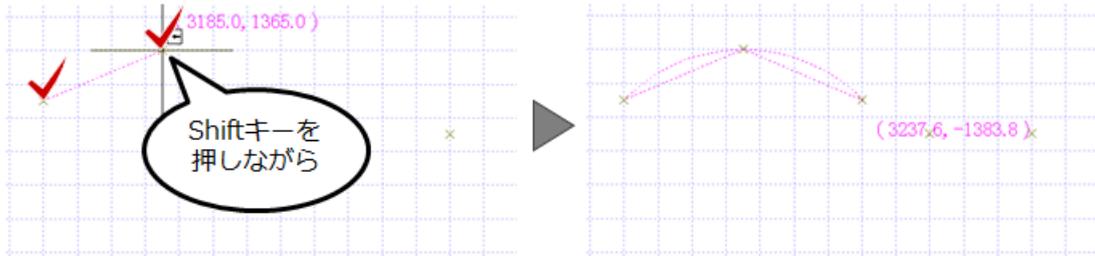
- 1 「線分」メニューから「連続線」を選びます。



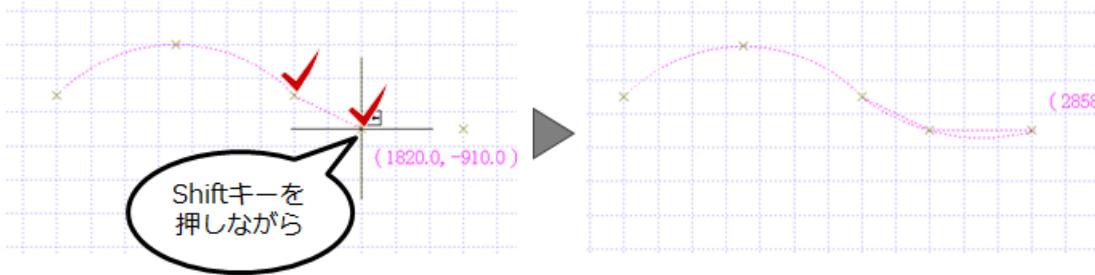
- 2 「補助レイヤ入力切替」を ON にします。



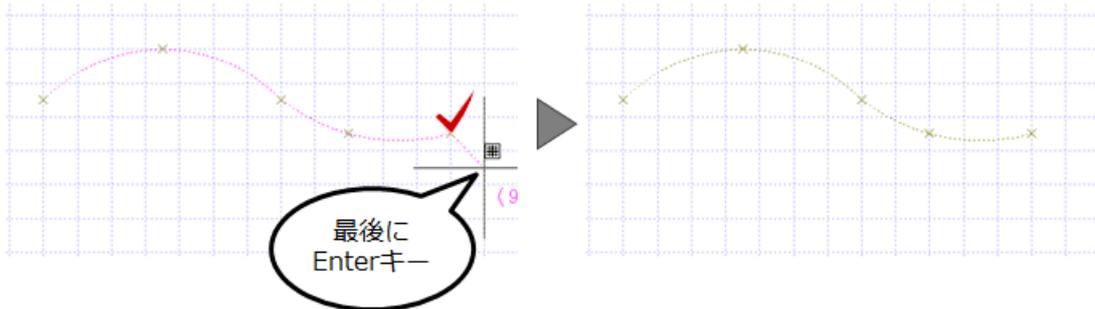
3 曲線の始点、Shift キーを押しながら円弧の通過点をクリックします。



4 次の曲線の始点、Shift キーを押しながら円弧の通過点をクリックします。



5 曲線の終了点をクリックして、最後に Enter キーを押します。



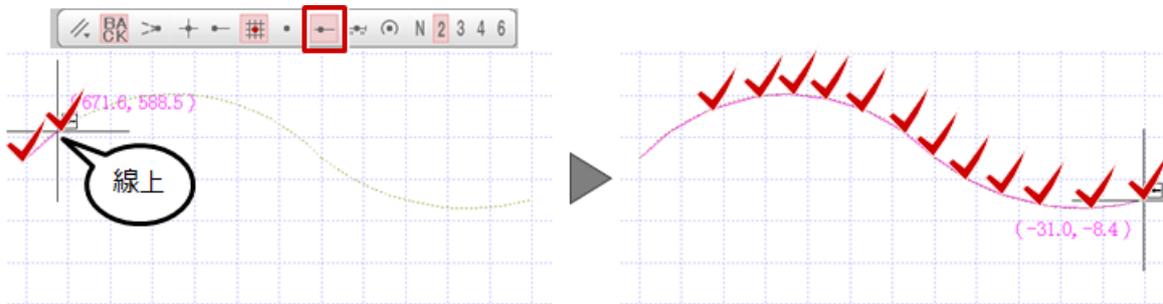
敷地を入力する

1 「敷地」をクリックします。

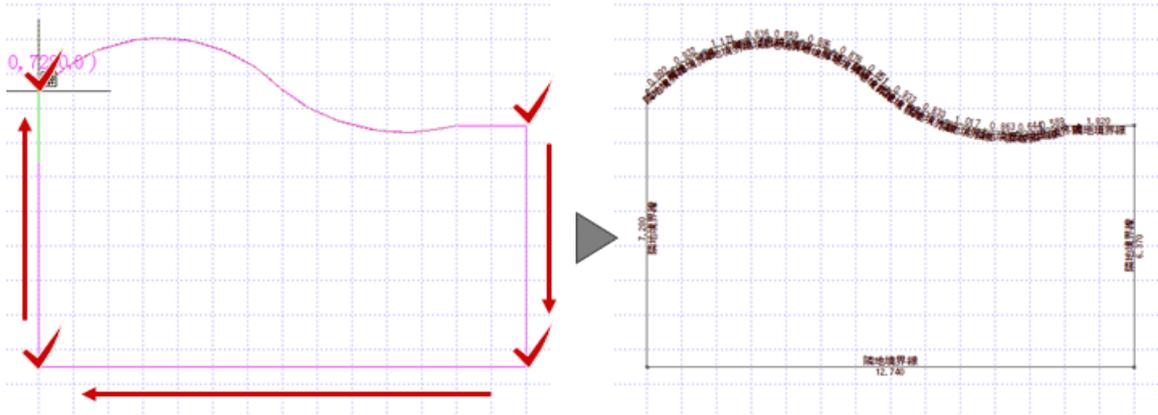


2 敷地の開始点をクリックします。

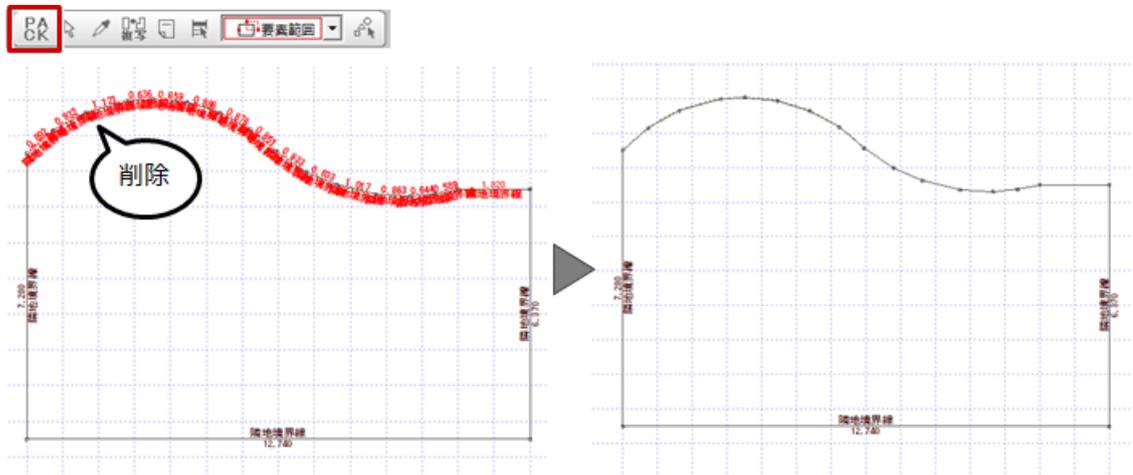
3 「ピック (線上)」を ON にして、曲線 (補助線) の線上を任意にクリックします。



4 残りの敷地の入力点を指定します。



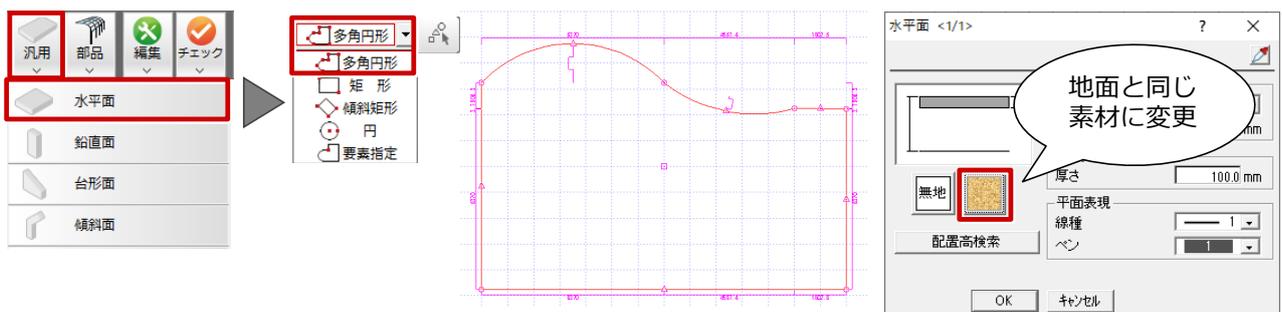
5 曲線部分の入力点が細かい点は、敷地境界と距離の文字が見にくくなります。ここでは「バック化選択」を OFF にして、これらの文字だけを削除します。



- ・汎用コマンドの「線分」メニューの「疑似スプライン」を使っても表現できます。スプライン曲線を入力し、「ピック（端点）」を ON にすると、スプライン曲線の直線部分の端点をピックできます。



- ・パースの表現のみであれば「汎用」コマンドの「水平面」で曲線を作成することができます。「多角円形」モードで入力し、敷地と素材を合わせて表現します。



配置図

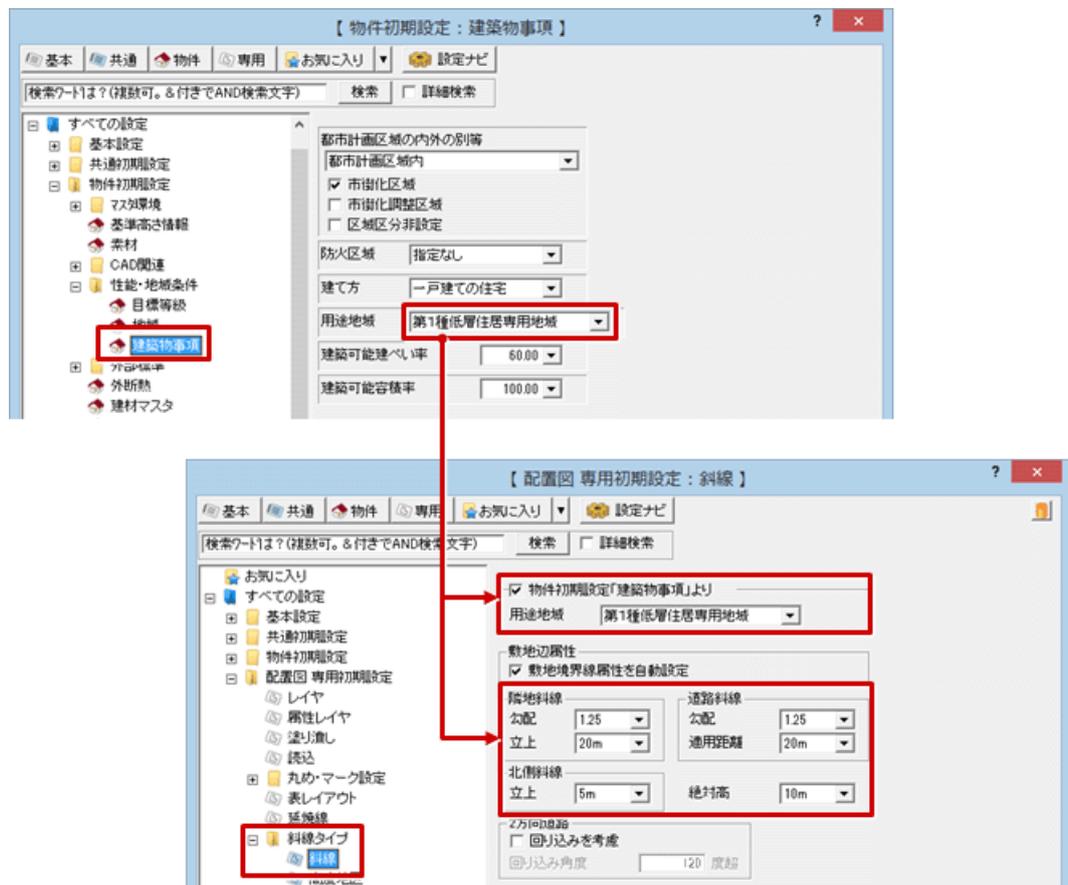
Q

用途地域の設定について教えてください。

A

用途地域は、「物件初期設定：性能・地域条件－建築物事項」の「用途地域」で設定します。

この用途地域が、配置図の「専用初期設定：斜線タイプ－斜線」の斜線規定の初期値になります。



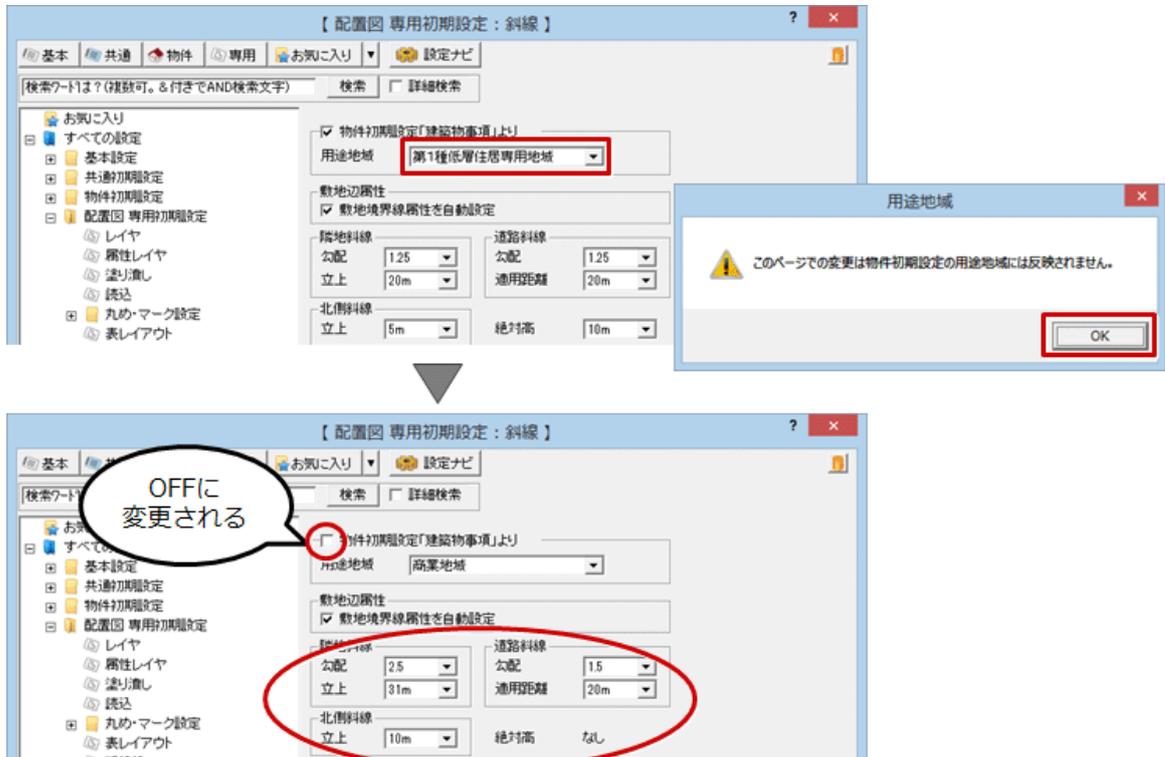
配置図の「専用初期設定：斜線タイプ－斜線」の「用途地域」について

- ・「用途地域」の設定は、地域により各斜線の規定が異なる場合のみ、各斜線規定の値を変更します。第1種低層など同じ用途地域でも、地域により斜線の数値が異なる場合は、現在の用途地域の斜線の規定のみを変更します。



敷地が複数の用途地域にわたる場合

- ・一例として、敷地が複数の用途地域にわたる場合は、図面を分けて作成する必要があります。
 このような場合は、配置図の別面にて、「専用初期設定：斜線タイプ-斜線」の「用途地域」を変更して各斜線の規定を設定します。
 このとき、この変更は物件初期設定の用途地域には反映されない旨の確認画面が表示されます。「OK」をクリックすると、「物件初期設定「建築物事項」より」がOFFになり、その用途地域の斜線の規定（初期値）が取り込まれます。必要に応じて、各設定を変更します。



配置図



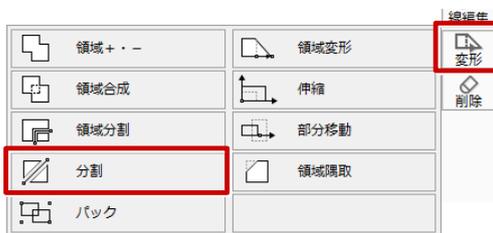
2つの用途地域にまたがる場合の敷地入力ができるかを教えてください。



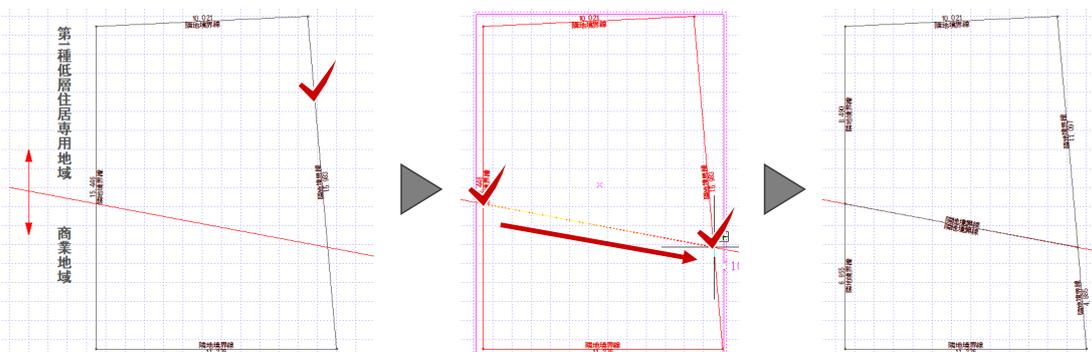
ZERO では、1つの物件で1つの用途地域しか設定できません。敷地を分割、または図面を分けて、用途地域ごとに検討します。

用途地域ごとに敷地面積を求める場合

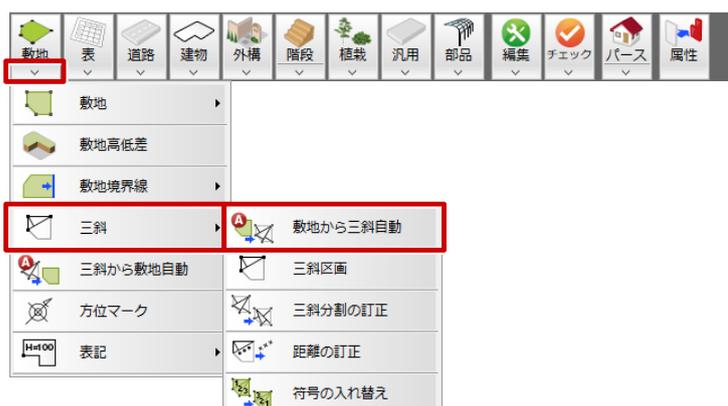
1 「変形」メニューから「分割」を選びます。



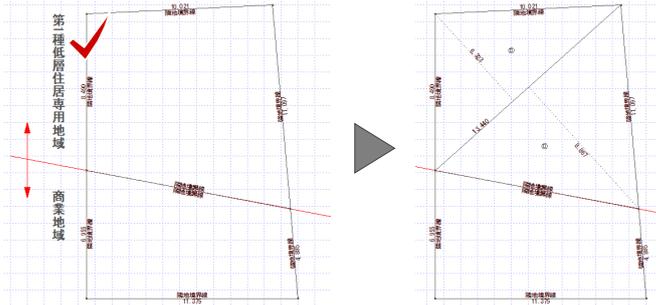
2 敷地をクリックし、分割ラインの始点、終点をクリックして敷地を分割します。



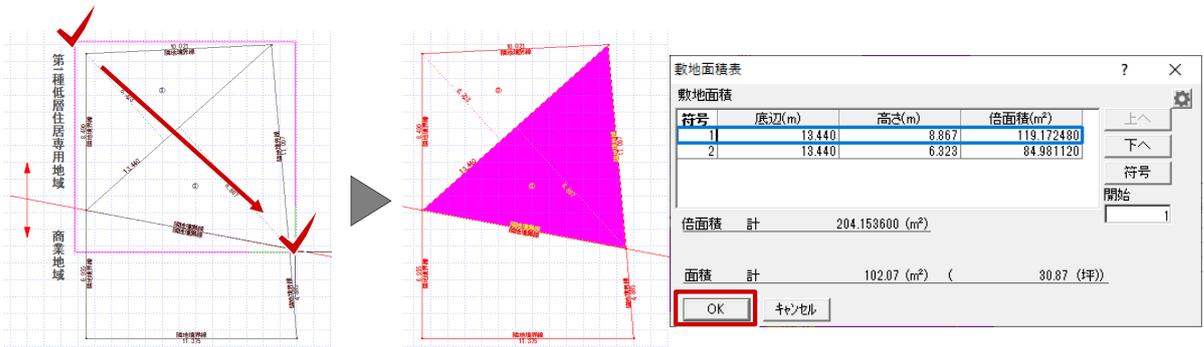
3 「敷地」メニューから「三斜」の「敷地から三斜自動」を選びます。



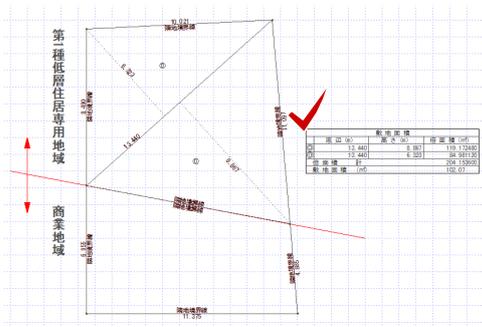
4 敷地をクリックすると、三斜区画が作成されます。



5 三斜法敷地面積表を作成する状態になっているので、対象の三斜区画を選択します。「敷地面積表」ダイアログの「OK」をクリックします。



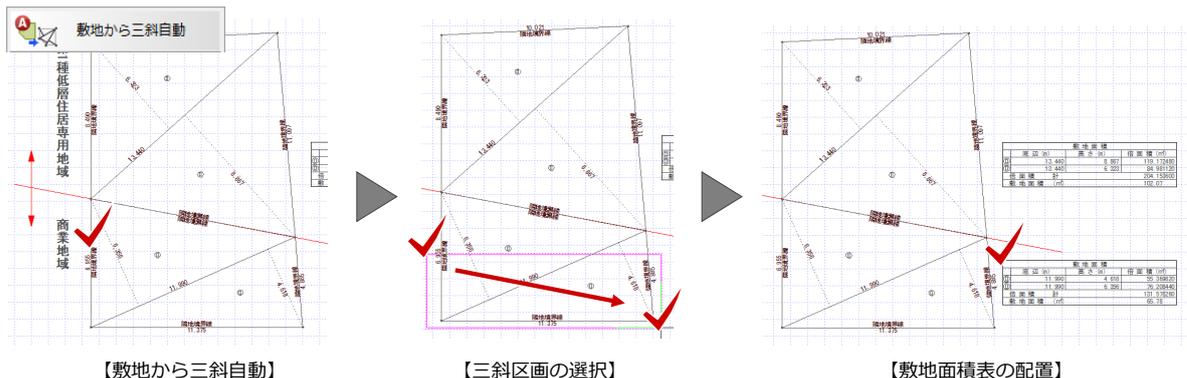
6 敷地面積表の配置位置をクリックします。



・手順 5 で、三斜法敷地面積表のコマンドが解除された場合は、「表」メニューから「三斜法敷地面積表」を選びます。



7 同様にして、もう一方の敷地面積表も配置します。



用途地域ごとに斜線を検討する場合

例えば、斜線を「第1種低層住居専用地域」と「商業地域」で検討したい場合は、敷地を分割し、用途地域ごとに図面を分けて検討します。

このとき、別面の「専用初期設定：斜線タイプ-斜線」では、「物件初期設定「建築物事項」より」をOFFにして「用途地域」を変更し、斜線の規定を設定します。

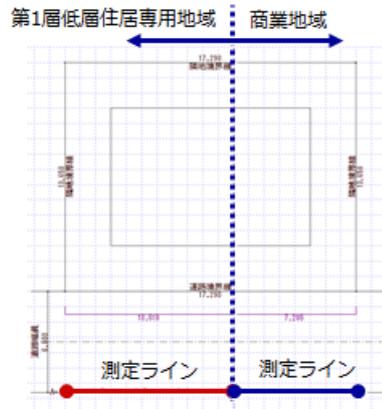
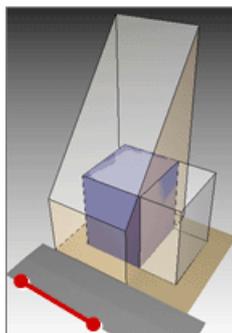
【配置図 (1面)】

【2面】

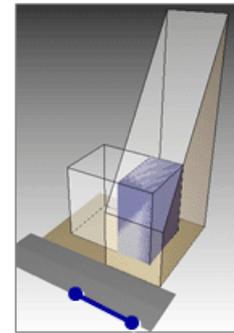


2つの用途地域にまたがる敷地の天空率を検討する場合

- 各用途地域ごとに分けて天空率を検討する必要があるため、日影・天空図の図面をわけて検討します。敷地の分割は不要です。



【用途地域が異なる場合 (道路と垂直)】



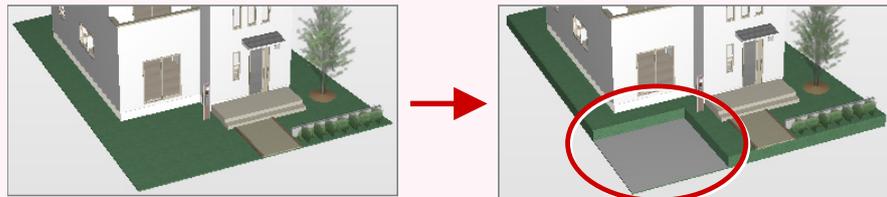
- ※ 天空率の解釈は、地域の特定行政庁・申請機関で異なる場合があります。必ず事前に地域の特定行政庁・申請機関に確認してください。



敷地の一部を下げる方法を教えてください。



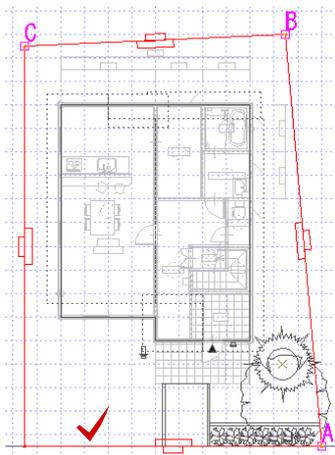
「敷地」メニューの「敷地高低差」を使用して、敷地の一部を下げます。



1 「敷地」メニューから「敷地高低差」を選びます。



2 敷地の線上をクリックします。



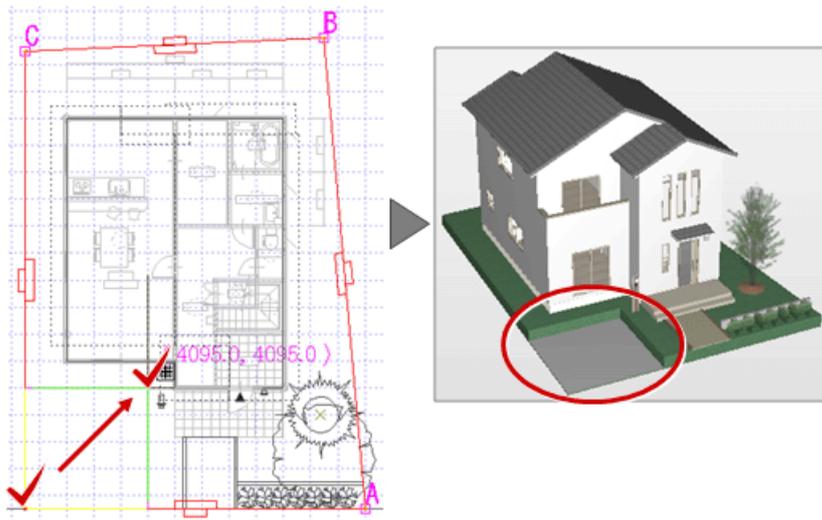
3 「敷地高低差」ダイアログの「高低差」に、下げたい数値を入力します。今回は「-500」とします。



4 入力方法を指定します。今回は「矩形」を選択します。



5 敷地が下がる範囲を入力します。



平面図



高度地区の設定方法を教えてください。

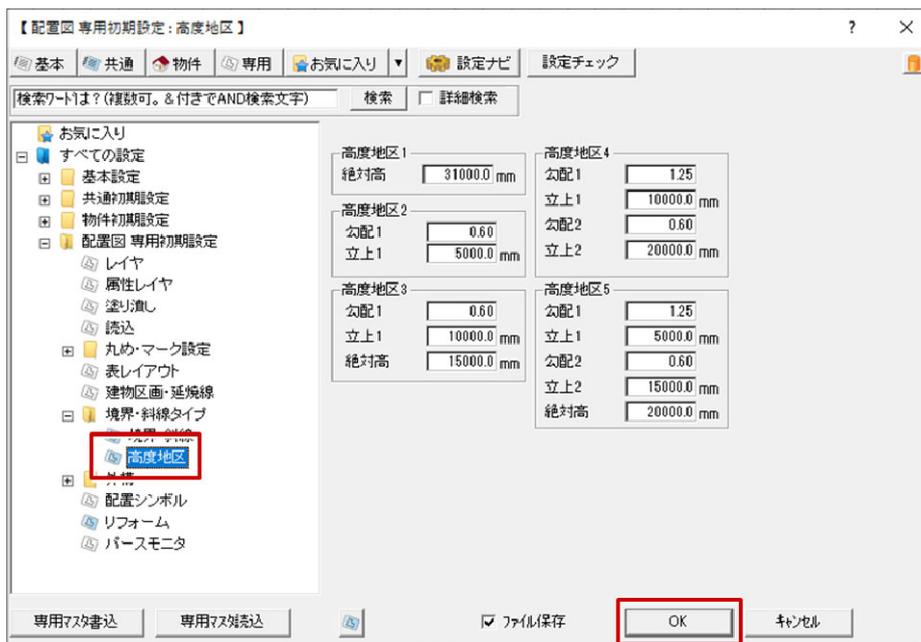


配置図の「専用初期設定：斜線タイプ－高度地区」で高度地区を設定し、敷地の属性ダイアログで「斜線タイプ」を変更します。

1 配置図を開いて、「設定」をクリックします。



2 「専用初期設定：斜線タイプ－高度地区」を選び、高度地区1～高度地区5を設定します。
※高度地区1～高度地区5の規定についてはヘルプ参照

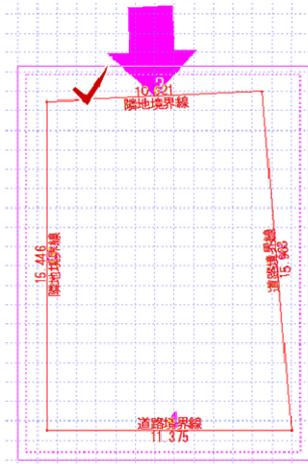


3 「属性変更」をクリックします。



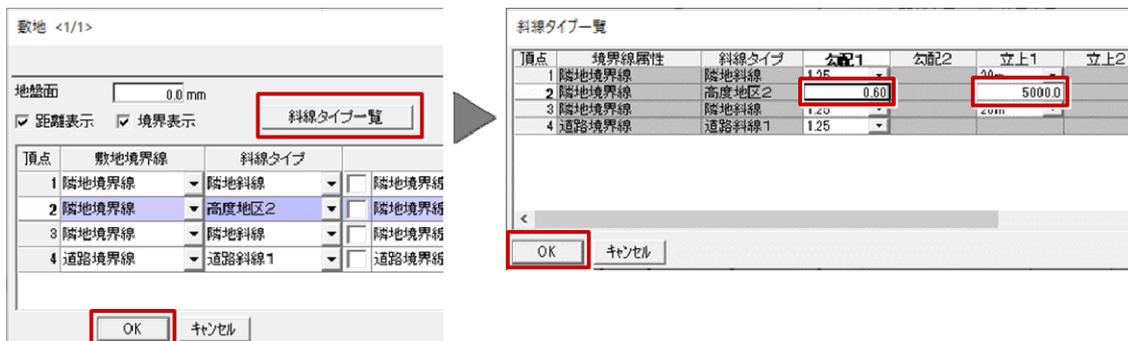
4 敷地をクリックします。

5 「敷地」ダイアログの「敷地境界線属性」で高度地区に設定する No を選び、「斜線タイプ」で高度地区のタイプを選びます。



6 「斜線タイプ一覧」をクリックします。

7 「斜線タイプ一覧」ダイアログの「勾配1」や「立上1」など、「専用初期設定：斜線タイプ-高度地区」で設定した内容になっていることを確認して「OK」をクリックします。「敷地」ダイアログで「OK」をクリックして、ダイアログを閉じます。



高度地区について

- ・都市計画法の形態規制となり、建築基準法の道路斜線・北側斜線より上位になります。天空率は建築基準法の法律になり、高度地区は天空率適用に該当しません。

配置図



敷地境界線の距離の丸め、小数桁数を変更する方法を教えてください。



「専用初期設定：丸め・マーク設定－設定1」の「距離」で、丸め方法や小数桁数を変更します。

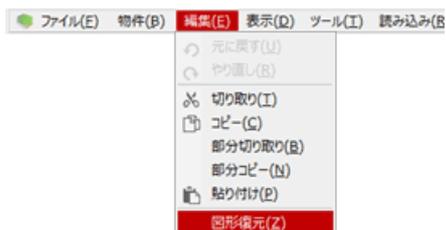
1 「設定」をクリックします。



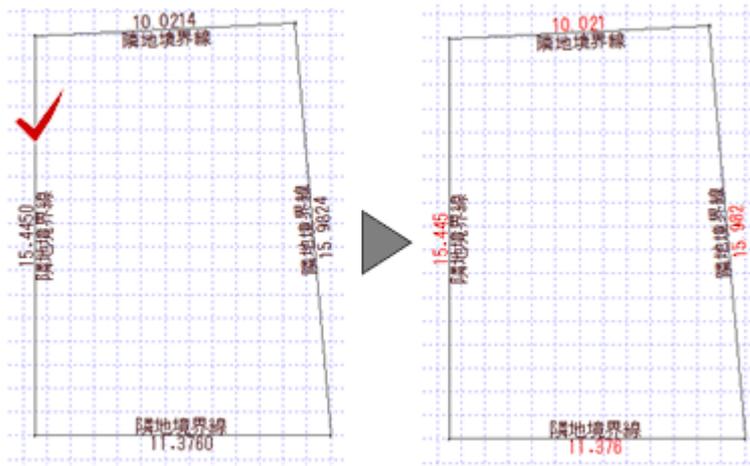
2 「専用初期設定：丸め・マーク設定－設定1」の「距離」の「丸め方法」、「小数桁数」を変更して、「OK」をクリックします。



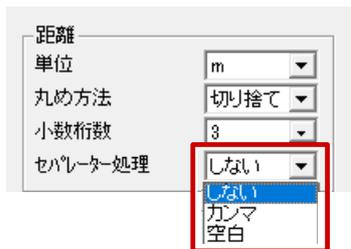
3 「編集」メニューから「図形復元」を選びます。



4 敷地をクリックします。



・寸法値の位取りは、「セパレーター処理」から「しない」「カンマ」「空白」を選びます。



「しない」の場合 $\overline{\quad 3640\text{mm} \quad}$

「カンマ」の場合 $\overline{\quad 3,640\text{mm} \quad}$

「空白」の場合 $\overline{\quad 3\ 640\text{mm} \quad}$

配置図



道路境界線・隣地境界線などの文字や距離を移動する方法を教えてください。

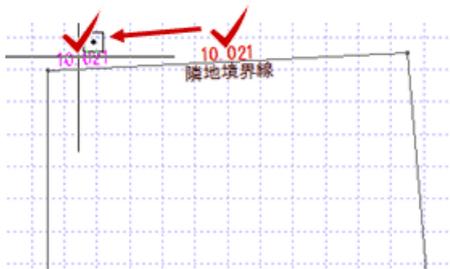


「寸法」メニューの「寸法文字移動」を使用して、敷地境界線の距離や文字を移動します。

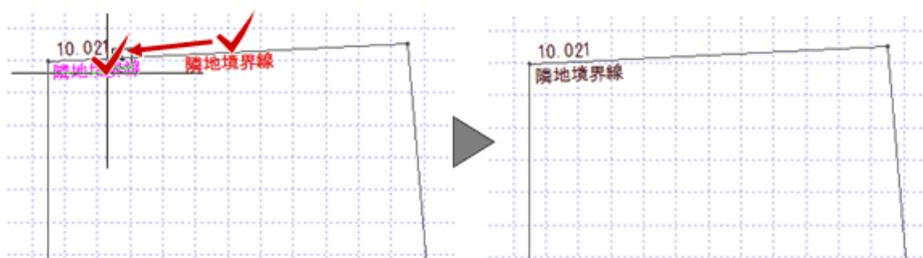
1 「寸法線」メニューから「寸法文字移動」を選びます。



2 移動する境界線の距離を選択して、配置位置をクリックします。



3 同様に、移動する境界線の文字を選択して、配置位置をクリックします。



- 境界線の距離や文字を移動した後、敷地を属性変更して「OK」をクリックしたり、「編集」メニューの「図形復元」を行うと、境界線の距離や文字は元の位置に戻ります。

配置図

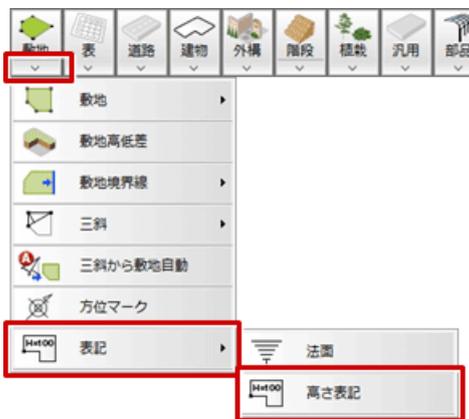


ベンチマーク (BM) の入力方法を教えてください。



「敷地」メニューの「表記」の「高さ表記」を使用して、ベンチマークを表記します。

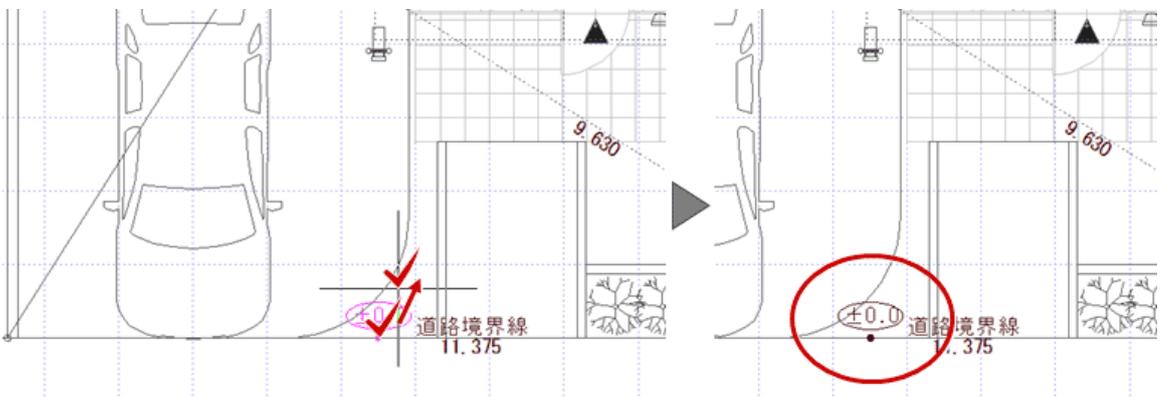
1 「敷地」メニューから「表記」の「高さ表記」を選びます。



2 「高さ表記」ダイアログの「BM (GL±0.0)」を ON にします。



3 高さを取得する位置を指定して、描画位置をクリックします。

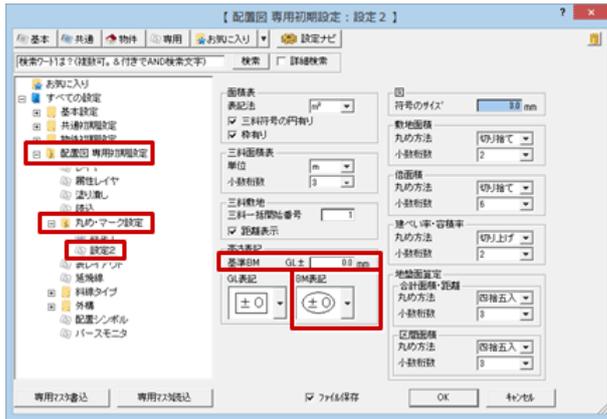


・BM、GLの記号マークは表記されないので、必要な場合は文字列を入力してください。





- ・ BM (ベンチマーク) の高さや記号は、「専用初期設定：丸め・マーク設定－設定 2」で設定します。



配置図



配置図 1 面を 2 面に複写する方法を教えてください。



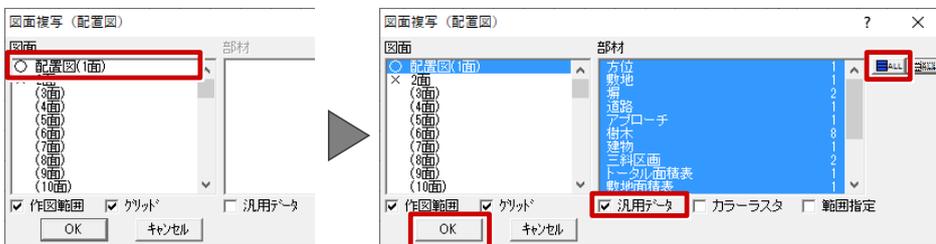
「ファイル」メニューの「図面複写」で複写します。

- 1 配置図 2 面を開いて、「ファイル」メニューから「図面複写」を選びます。

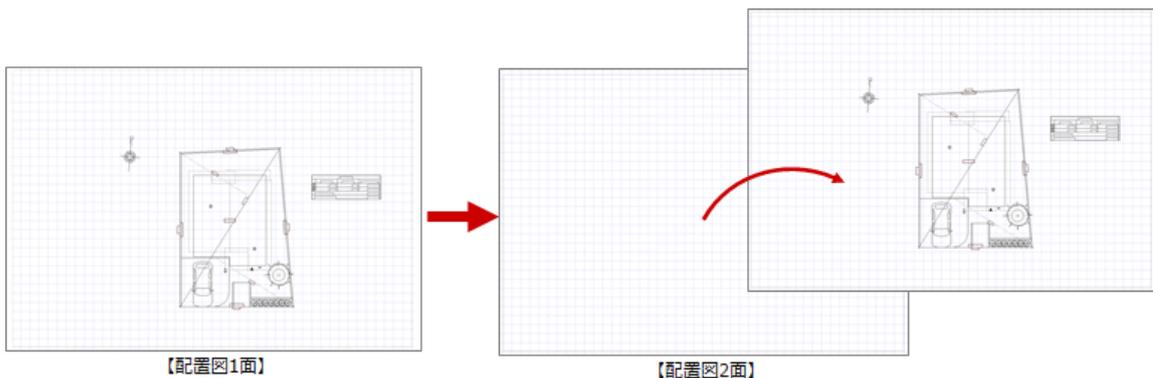


- 2 「図面複写（配置図）」ダイアログの「図面」で「配置図（1 面）」をクリックします。

- 3 「部材」に配置図（1 面）の部材が表示されるので、「ALL」をクリックしてすべて選び、「汎用データ」を ON にします。
「OK」をクリックします。



作図範囲	複写元図面と同じ作図範囲、作図原点にします。
グリッド	複写元図面と同じグリッド、サブグリッドにします。
汎用データ	汎用機能で入力した線や円などのデータも複写します。
カラーラスタ	汎用機能で貼り付けたカラーの画像も複写します。
範囲指定	柱や壁などの部材、線、円やカラー画像などを複写する対象の範囲を指定します。



配置図



配置図に平面図を取り込む方法と平面図の変更を反映させる方法を教えてください。

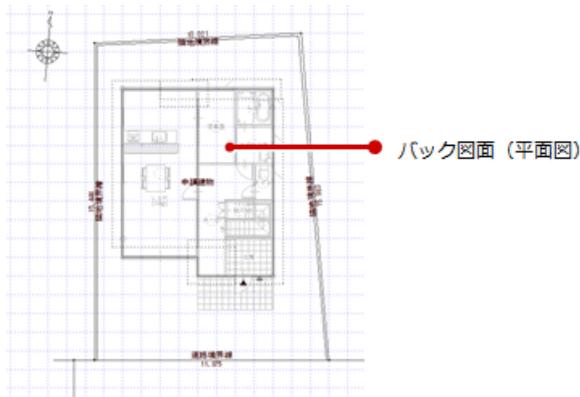


「ファイル」メニューの「バック図面・バックデータ」の「バックデータ取り込み」を使って、バック表示した平面図を使用していないレイヤに取り込みます。
平面図に更新があった場合は、取り込み先のレイヤのデータだけを削除してから、再度取り込みなおします。

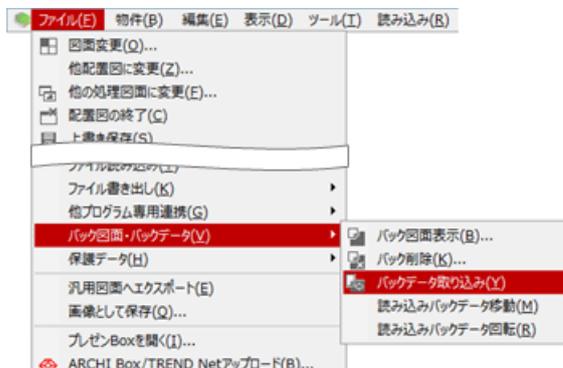
配置図に平面図を取り込む方法

平面図に取り込む際、取り込み先のレイヤを指定します。レイヤを指定しておく、平面図を削除する際にそのレイヤのデータだけを選択・削除できるようになります。

1 取り込む平面図をバック表示します。



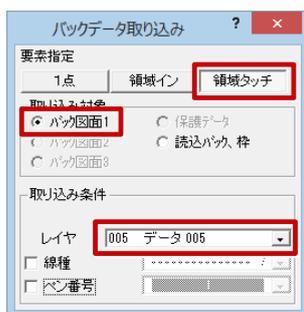
2 「ファイル」メニューから「バック図面・バックデータ」の「バックデータ取り込み」を選びます。



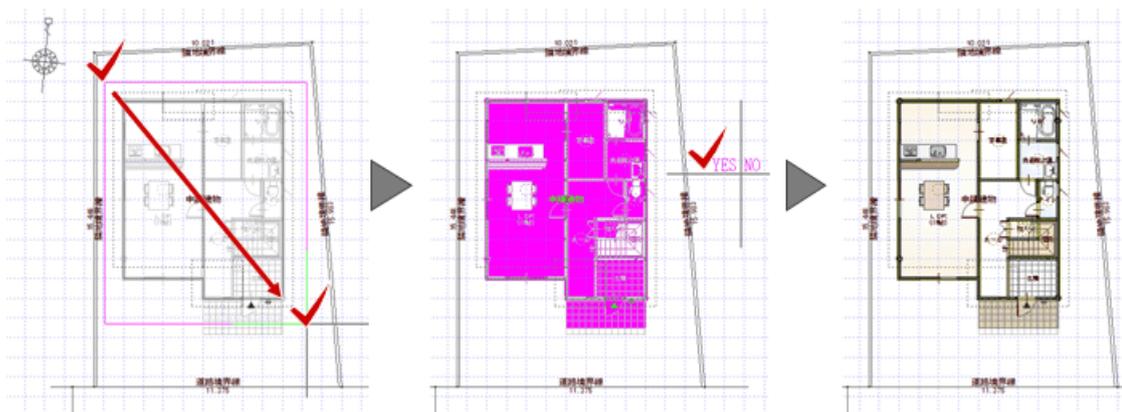
3 「バックデータ取り込み」ダイアログで「領域タッチ」をONにします。

4 「バック図面 1」がONであることを確認します。

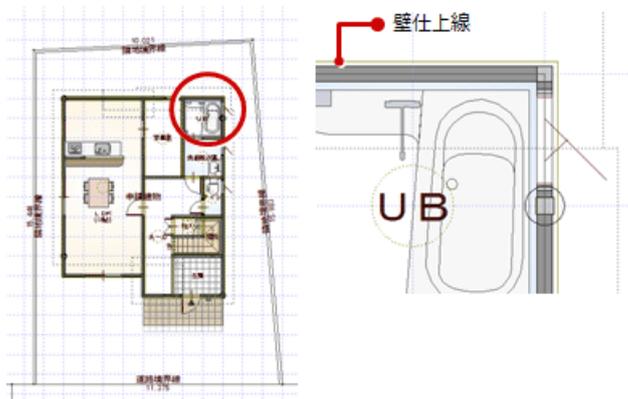
5 ここでは、「取り込み条件」の「レイヤ」を「005 データ 005」に変更します。
※ 基本、「002 データ 002」～「005 データ 005」は使用していません。他のデータが入力されていないレイヤを使用することをお勧めします。



6 平面図を取り込む範囲を指定して、左クリックで「YES」を指定します。

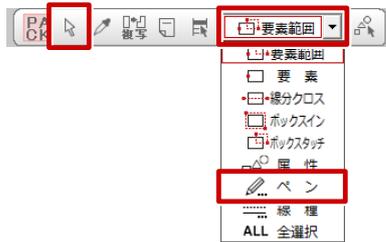


7 「バックデータ取り込み」では平面図の仕上データ（不出力線）まで取り込まれます。これらのデータが不要の場合は削除します。

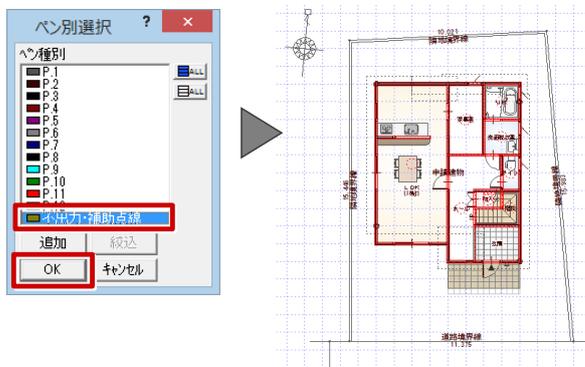


8 「対象データ選択」をクリックします。

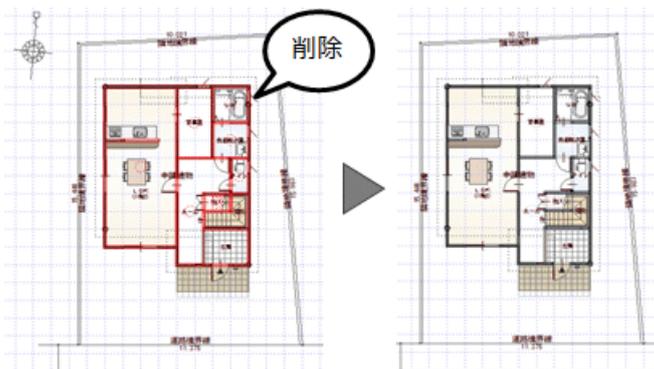
9 「操作モード切替」から「ペン」を選びます。



10 「ペン別選択」ダイアログで「不出力・補助点線」を選び、「OK」をクリックします。
 ※ 平面図の仕上線以外に、配置図と平面図に不出力線、補助点線があるとこれらも選択されてしまいます。



11 キーボードの Delete キーを押して、データを削除します。



- 平面図の塗り潰しが不要な場合は、平面図で「自動」メニューの「塗り潰し処理選択」を使って塗り潰しなしに変更してから、配置図に取り込んでください。
- 「編集」メニューの「コピー」「貼り付け」を使って、配置図に平面図を貼り付けることができます。ただし、貼り付けた後、データのレイヤを変更する必要があります。

配置図に平面図の更新を反映する方法

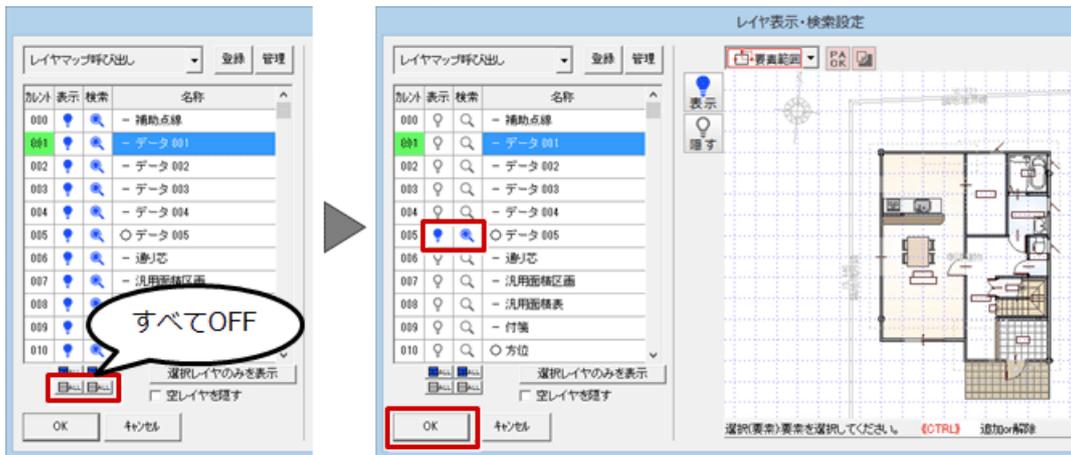
配置図に配置されている平面図だけを削除する必要があります。ここでは、レイヤ「データ 005」に配置した平面図を削除してから、再度バック図面から取り込みます。

- 1 「レイヤ表示・検索設定」をクリックします。



- 2 「表示」 「検索」 の「すべて OFF」をクリックして、「データ 005」のみ「表示」 「検索」 を ON にします。

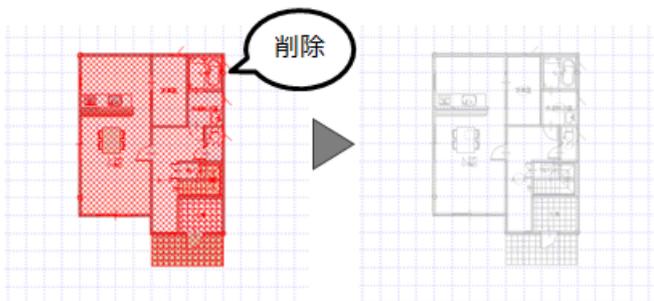
- 3 「OK」をクリックします。



- 4 保存の確認画面で「いいえ」をクリックします。



- 5 レイヤ「データ 005」だけのデータが表示されるので、データを選択して削除します。



6 再度、「レイヤ表示・検索設定」をクリックします。



7 「表示」「検索」の「すべて ON」をクリックして、表示を元に戻します。



8 「ファイル」メニューの「バック図面・バックデータ」の「バックデータ取り込み」を使って、平面図を取り込みます。



・平面図の取り込みが頻繁に発生するような場合、「レイヤ表示・検索設定」で「データ 005」のみを表示したレイヤマップを登録します。共通ツールバーに「レイヤ表示・検索切替」を表示しておくで、簡単にレイヤマップを切り替えることができます。



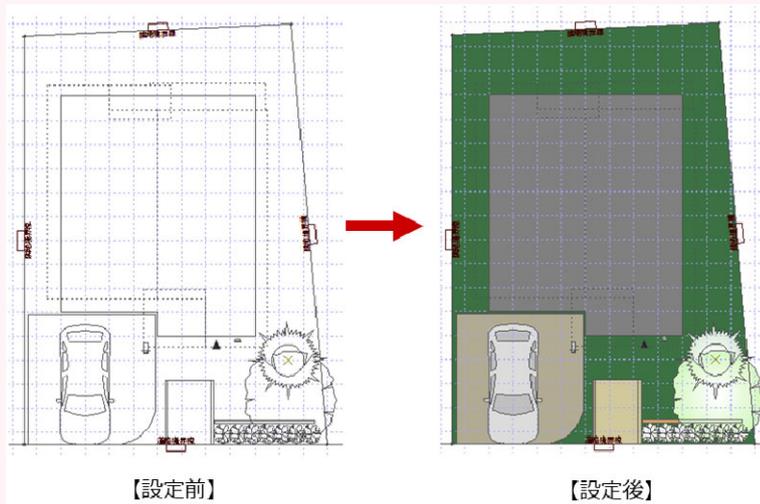
配置図

Q

配置図をカラーに変更する方法を教えてください。

A

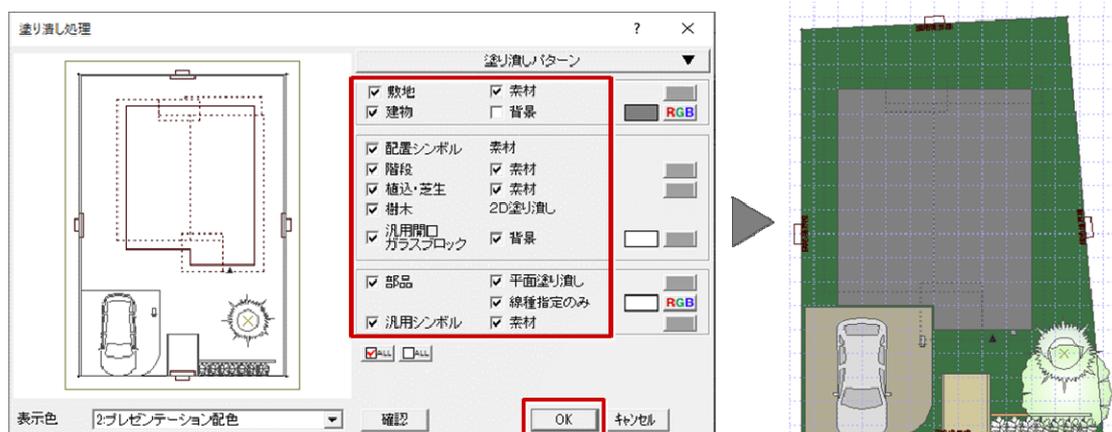
「ツール」メニューの「塗り潰し処理」を設定して、配置図をカラーにします。



1 「ツール」メニューから「塗り潰し処理」を選びます。



2 「塗り潰し処理」ダイアログで各項目を設定して、「OK」をクリックします。





- ・配置図の専用初期設定の「塗り潰し」の内容が初期値となります。なお、配置図で「塗り潰し」ダイアログの設定をして塗り潰し処理を実行すると、その設定内容が専用初期設定の「塗り潰し」に反映されます。



配置図

Q

1/200 で作成した図面を 1/100 で印刷する場合に、文字が大きくなるようにする方法を教えてください。

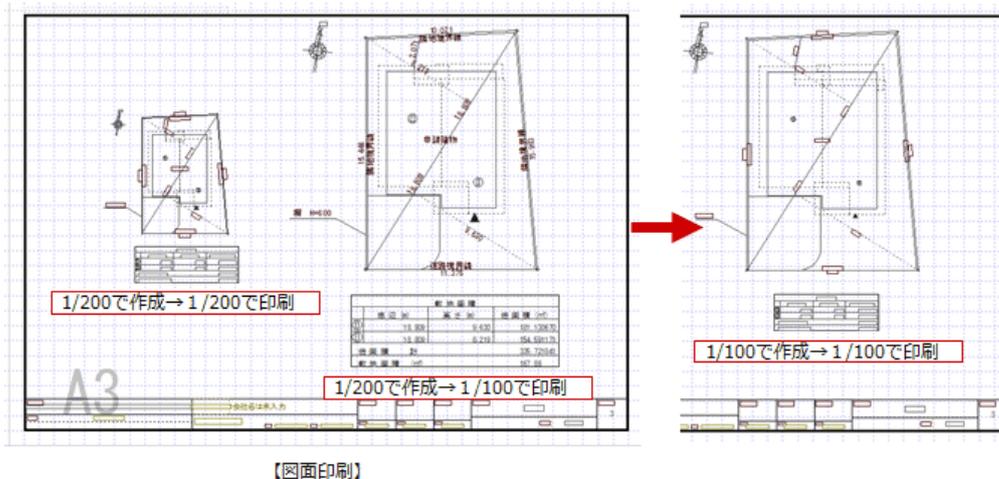
A

入力画面に戻って画面右下の縮尺を印刷時の縮尺に変更し、縮尺に合う文字サイズになるように文字や寸法文字の大きさを変更します。

※ 図面を作成したときと同じ縮尺で印刷する場合は、文字の大きさは変わりません。

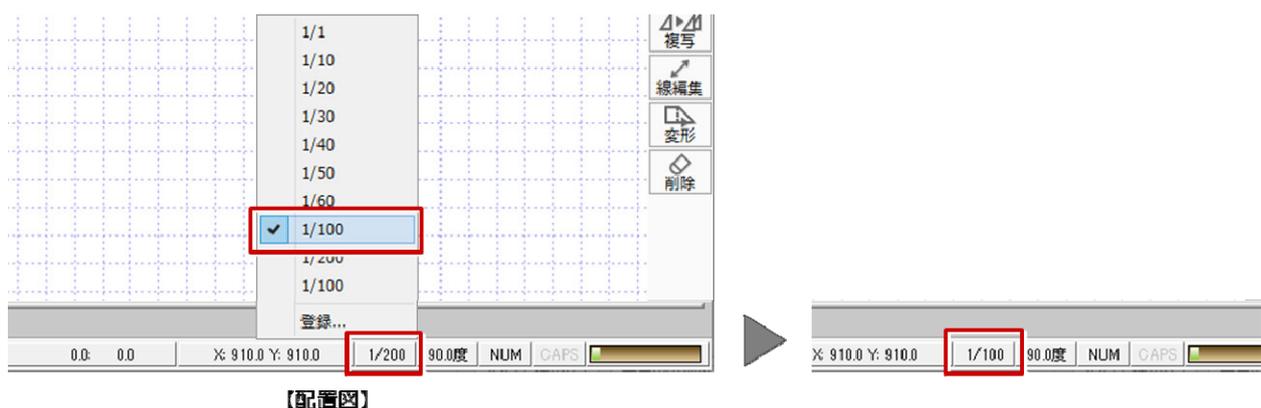


- 図面印刷で図面を配置するとき、図面の作成時と同じ縮尺で配置した場合は、図面で設定した文字の大きさを印刷されます。図面印刷で縮尺を変更した場合は、文字の大きさが変わります。ZERO では、入力時に縮尺に応じた文字サイズとなるよう内部処理が行われているため、印刷時の縮尺が変わる場合は、入力画面に戻って縮尺を変更し、文字の大きさを調整する必要があります。



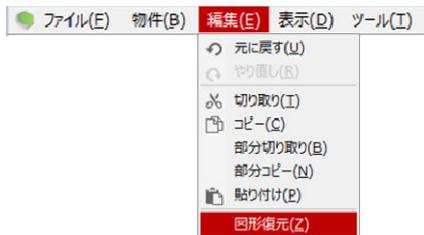
入力画面の縮尺を印刷時の縮尺に変更する

例えば、配置図を 1/200 で作成して 1/100 で印刷する場合は、画面右下のスケールをクリックして、縮尺を 1/100 に変更します。

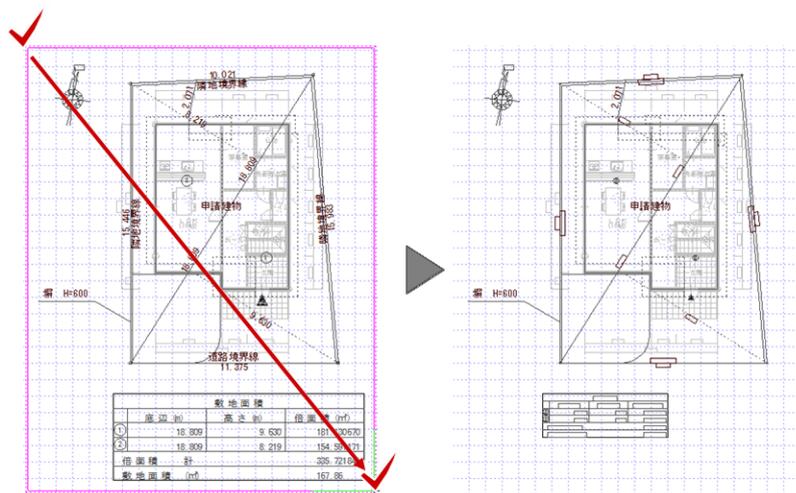


境界線文字や敷地距離などを変更する

1 「編集」メニューから「図形復元」を選びます。



2 変更する範囲を指定します。



・算定表や面積表は、「編集」メニューの「図形復元」で表を選択すると、表全体の大きさが変わります。

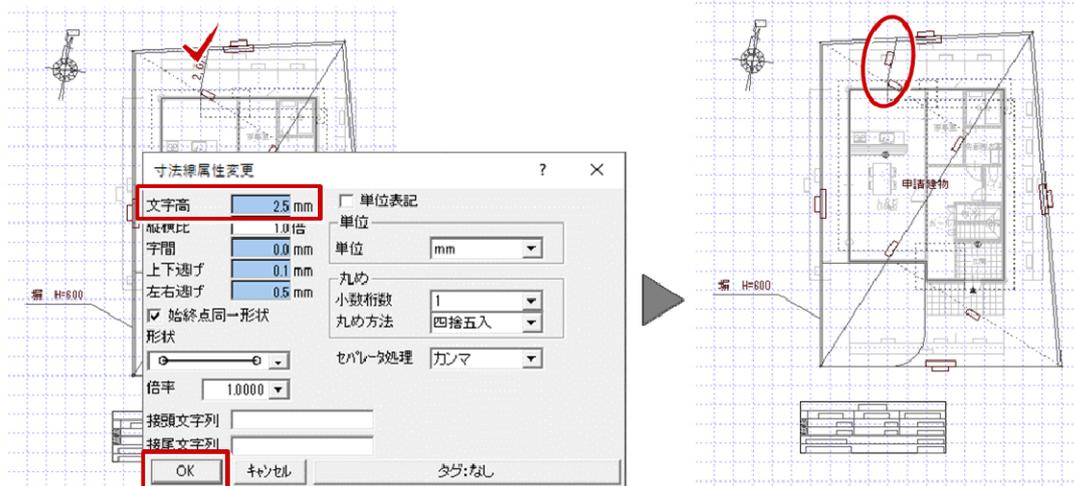
寸法文字の大きさを変更する

「図形復元」で大きさが変わらない文字は、以下の手順で大きさを変更します。

1 「属性変更」をクリックします。

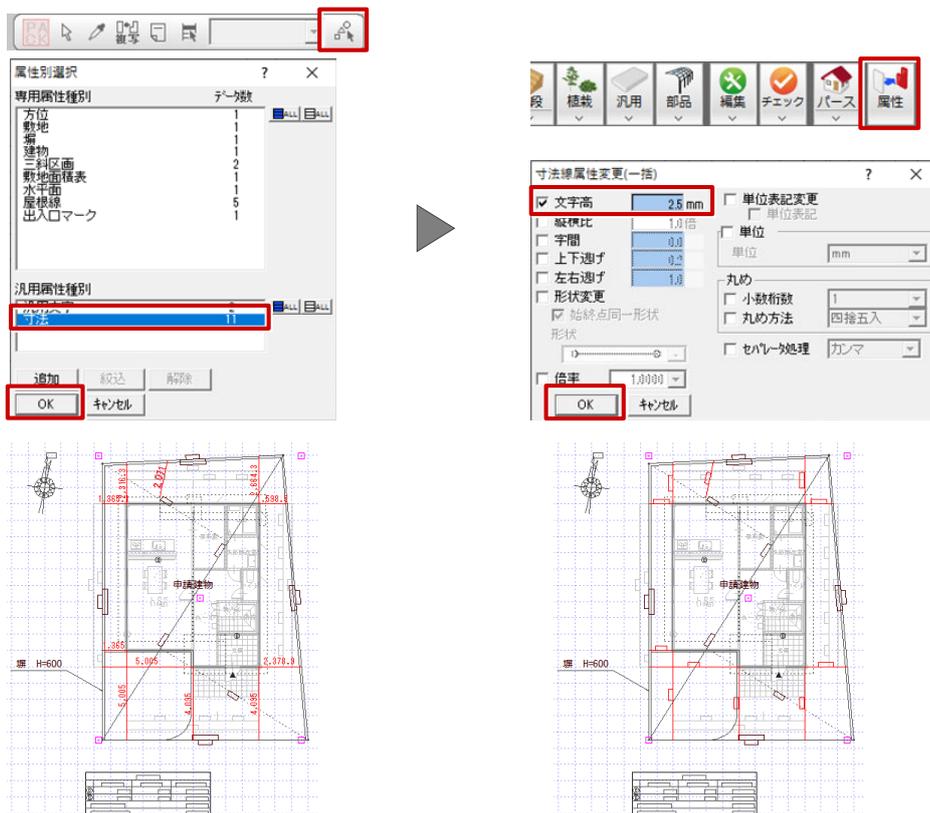


2 寸法値を選択し、「寸法線属性変更」ダイアログの「文字高」を変更して、「OK」をクリックします。



複数の寸法文字をまとめて変更するには

- ・「属性別選択」をクリックし、「寸法」を選んで「OK」をクリックすると、寸法文字がすべて選択されます。その状態で「属性変更」をクリックし、「寸法線属性変更（一括）」ダイアログの「文字高」を変更して「OK」をクリックすると、まとめて変更できます。

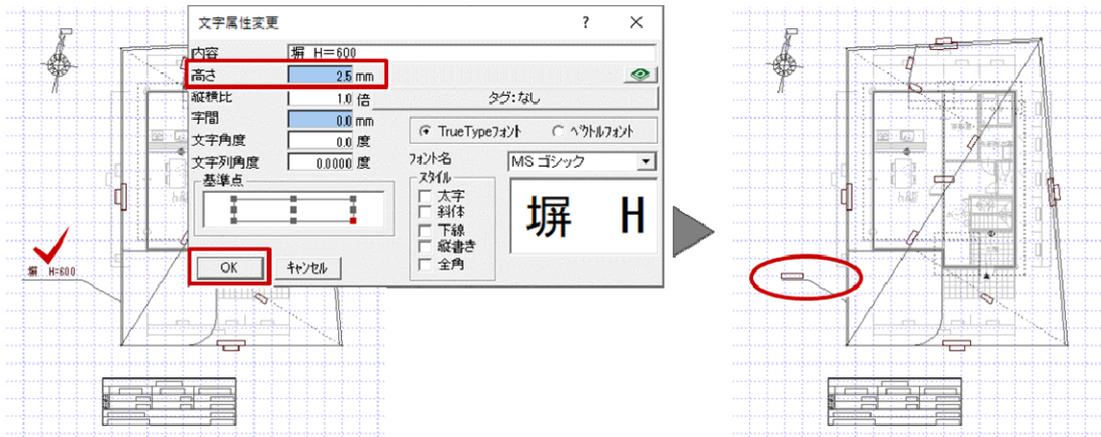


汎用入力した文字の大きさを変更する

1 「文字」メニューから「文字属性変更」を選びます。

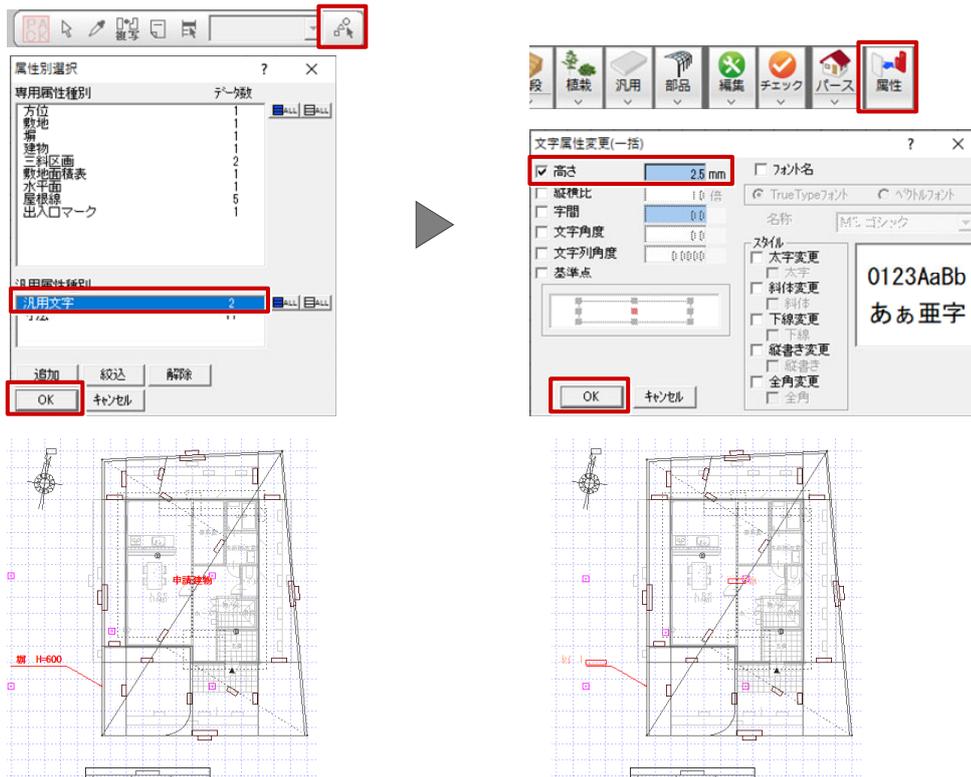


2 文字を選択し、「文字属性変更」ダイアログの「高さ」を変更して、「OK」をクリックします。



複数の汎用入力した文字をまとめて変更するには

- ・「属性別選択」をクリックし、「汎用文字」を選んで「OK」をクリックすると、汎用文字がすべて選択されます。その状態で「属性変更」をクリックし、「文字属性変更（一括）」ダイアログの「高さ」を変更して「OK」をクリックすると、まとめて変更できます。



配置図



建物から敷地までの距離を変更する方法を教えてください。

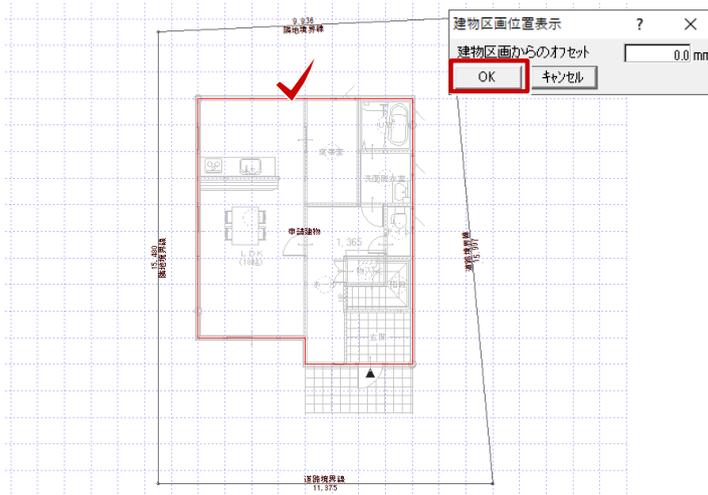


「編集」メニューの「敷地移動」を使用して、建物区画と敷地との距離を変更します。

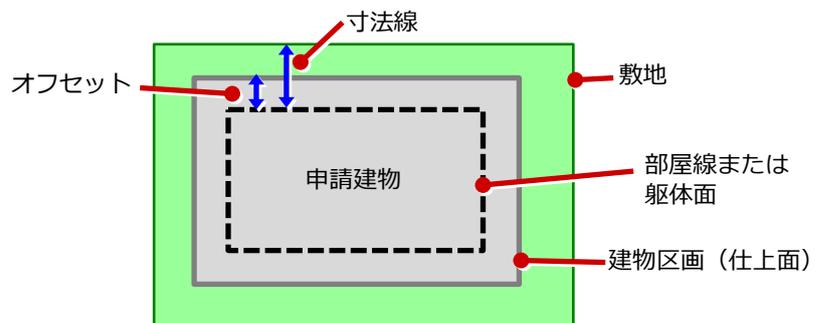
1 「編集」メニューから「敷地移動」を選びます。



2 建物区画の線をクリックして、「建物区画位置表示」ダイアログの「OK」をクリックします。



- ・建物区画を「部屋からのオフセット」「躯体からのオフセット」で仕上面の位置に作成しているような場合に、部屋線または躯体面からの寸法としたいとき「建物区画からのオフセット」を使用します（入力範囲：0～500、－値は設定不可）。



3 距離を変更したい数値をクリックします。

4 「建物区画位置設定」ダイアログの「敷地までの距離」を変更して、「OK」をクリックします。



・敷地と同時に移動するのは、以下のデータです。

敷地、傾斜敷地、三斜区画、道路、階段、塀、擁壁、スロープ、フェンス、ウッドフェンス、ウッドデッキ、外装ルーバー、手摺、飛び石、法面、簡易建物、植込、樹木、延焼線、汎用シンボル、3D カタログ部品、AM 部品、3D 部品

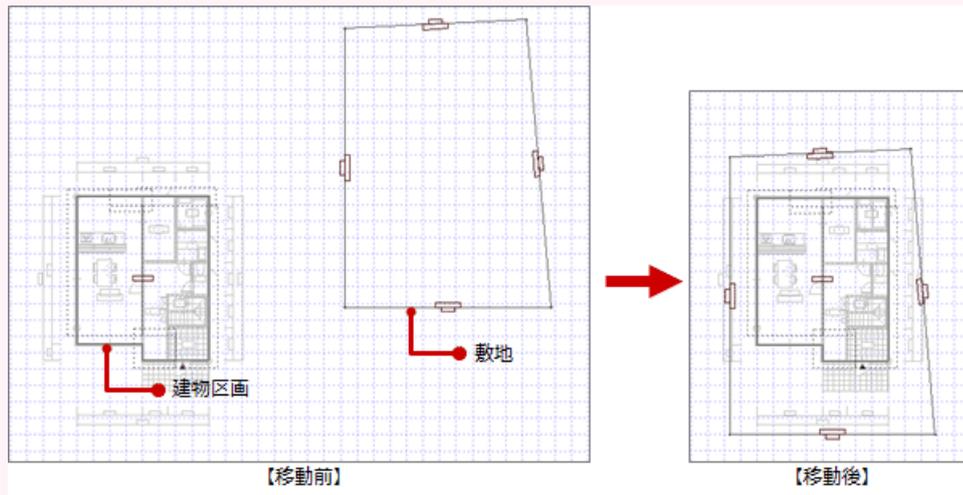
配置図

Q

建物から離れた位置に敷地がある場合に、建物から敷地までの距離を指定して敷地を移動する方法を教えてください。

A

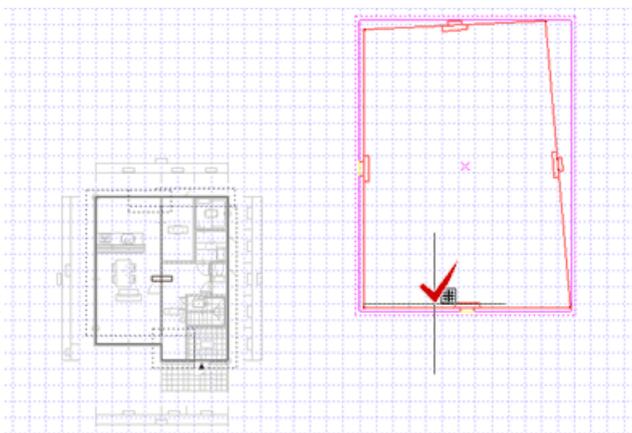
建物区画が敷地に含まれるように敷地を移動した後、「編集」メニューの「敷地移動」で距離を指定して敷地を移動します。



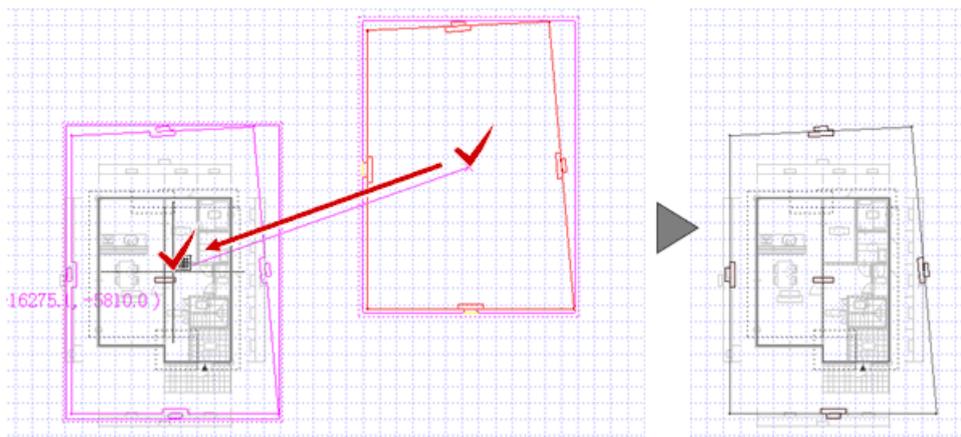
1 「移動」メニューから「移動」を選びます。



2 敷地をクリックします。



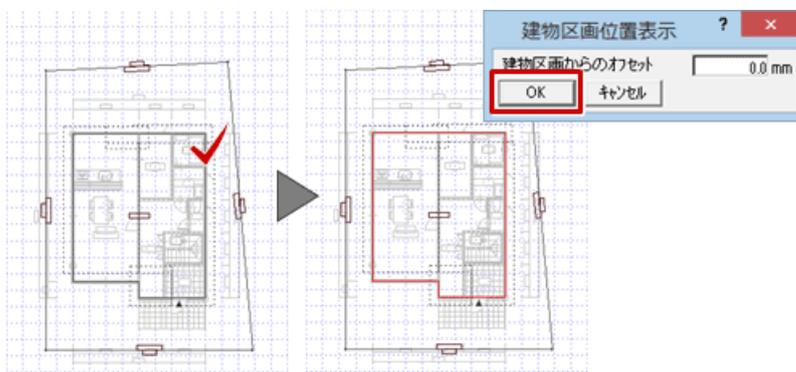
3 基準点をクリックして、建物区画が敷地に含まれる位置でクリックします。



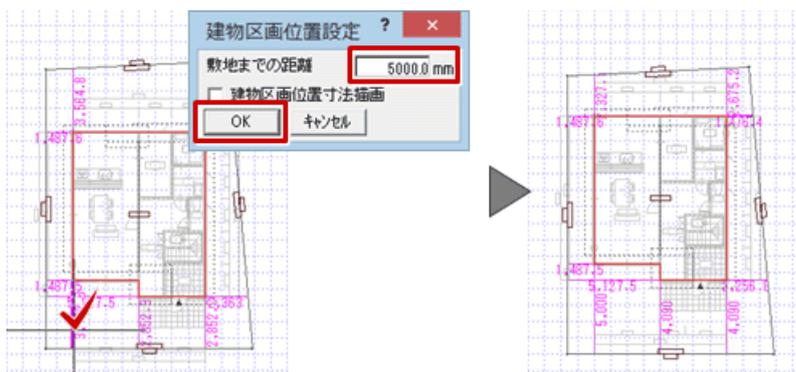
4 「編集」メニューから「敷地移動」を選びます。



5 建物区画を選択し、表示されたダイアログの「建物区画からのオフセット」の値を確認して、「OK」をクリックします。



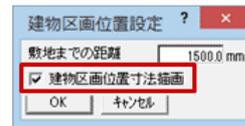
6 寸法値をクリックし、表示されたダイアログの「敷地までの距離」を指定して、「OK」をクリックします。



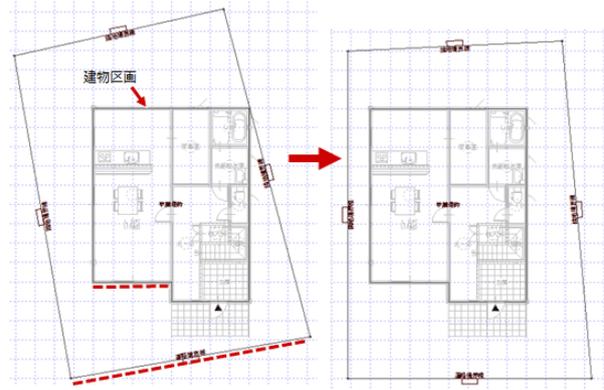
7 同様の操作で他の寸法も指定します。



- 建物区画のコーナー部分が1箇所以上敷地に含まれていれば、離れ寸法線が表示されて「敷地移動」を実行することができます。
- 「建物区画位置寸法描画」をONにして「OK」をクリックすると、建物から敷地までの寸法を描画します。



- 距離を決める敷地境界線を建物に平行にする場合は、「編集」メニューの「敷地回転」で、建物区画と敷地境界線を平行にします。



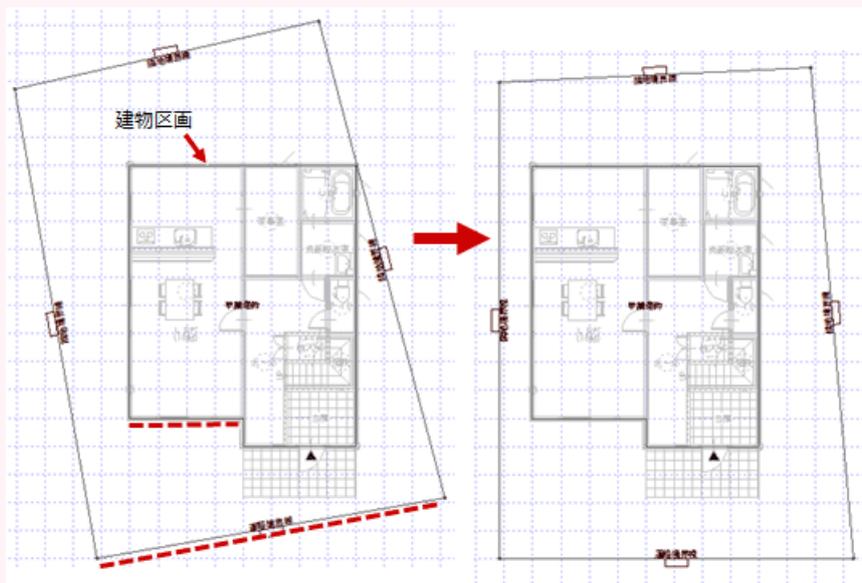
Q

建物区画と敷地境界線を平行にする方法を教えてください。

A

「編集」メニューの「敷地回転」で、建物区画と敷地境界線を平行にします。

※「敷地回転」コマンドを使用して敷地の回転をするときは、建物区画が作成されている必要があります。

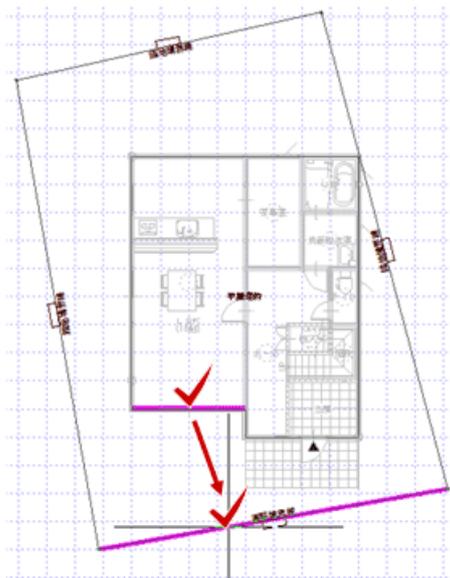


1

「編集」メニューから「敷地回転」を選びます。



2 基準となる建物区画の辺をクリック、平行にする敷地の辺をクリックします。



3 回転の中心となる敷地の頂点をクリックします。



敷地と同時に移動するデータ

方位、敷地、傾斜敷地、三斜区画、道路、階段、塀、擁壁、スロープ、フェンス、ウッドフェンス、ウッドデッキ、外装ルーバー、手摺、飛び石、法面、簡易建物、植込、樹木、延焼線、汎用シンボル、3Dカタログ部品（エクステリア・照明機器・住宅設備・装飾パーツ・素材）、AM 部品（エクステリア・景観・その他）、3D 部品（外構・共通）

配置図



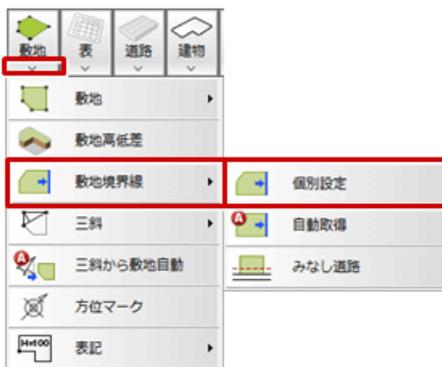
道路の作成方法を教えてください。



「敷地」メニューの「敷地境界線」の「個別設定」で道路境界線を設定し、「道路」メニューの「道路」の「道路自動配置」で作成します。

自動で作成する方法

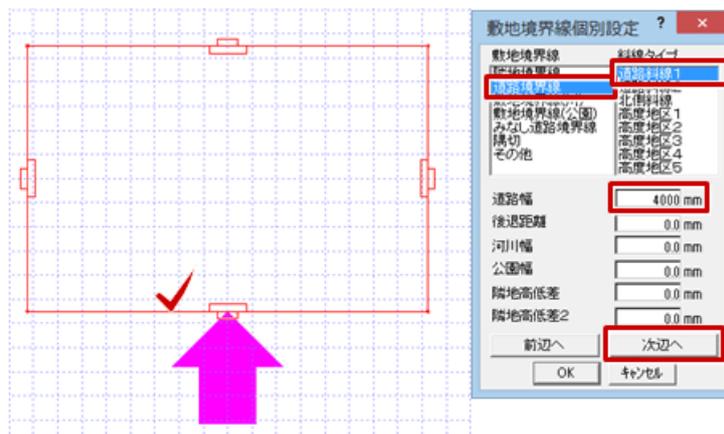
- 1 「敷地」メニューから「敷地境界線」の「個別設定」を選びます。



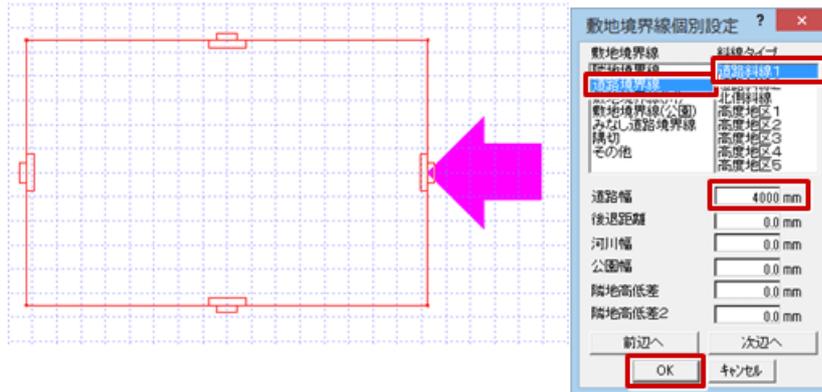
- 2 道路境界線に設定する敷地辺をクリックします。

- 3 「敷地境界線個別設定」ダイアログの「敷地境界線」で「道路境界線」「斜線タイプ」で「道路斜線 1」を選び、「道路幅」を設定します。

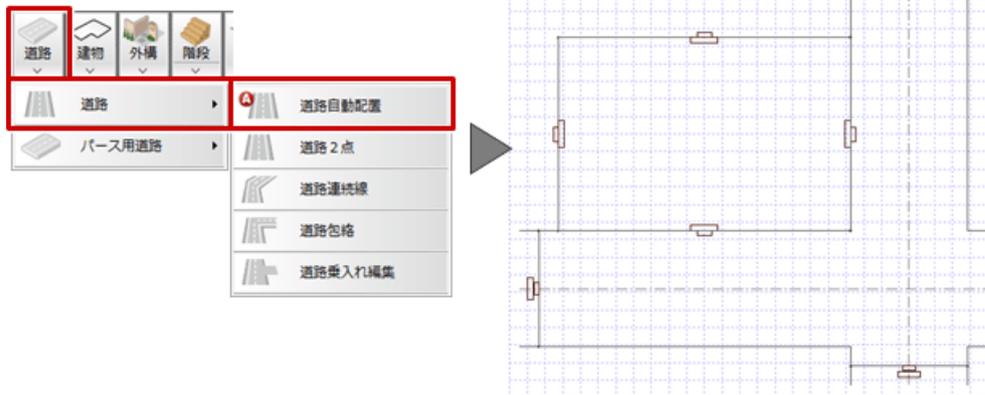
- 4 「次辺へ」をクリックします。



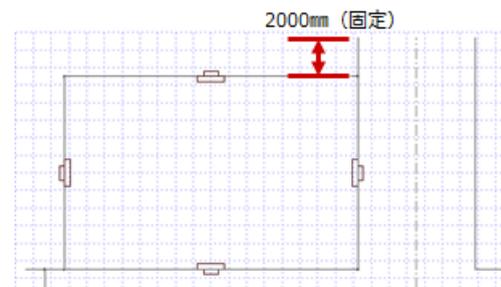
- 5 同様に、ラバーバンドが表示されている敷地辺を道路境界線に設定します。
- 6 設定を終えたら、「OK」をクリックします。



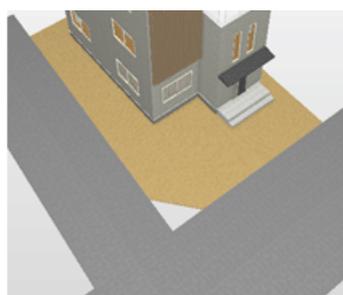
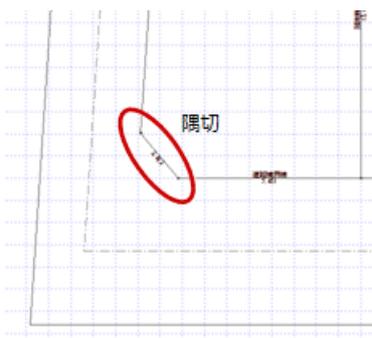
- 7 「道路」メニューから「道路」の「道路自動配置」を選ぶと、道路が作成されます。



- 自動配置では、道路境界線の辺の長さより両端部分が2000 mm (プログラム固定) 延長されて道路が入力されます。



- 隅切のある2方向道路の場合、「道路」メニューから「道路」の「道路自動配置」ではパースで隅切り部分の道路を表現できません。パースで隅切り部分を表現したいときは、「道路」メニューの「パース用道路」にある「道路自動配置」を使用します。



「道路」の「道路自動配置」を使った道路



「パース用道路」の「道路自動配置」を使った道路

個別に作成する方法

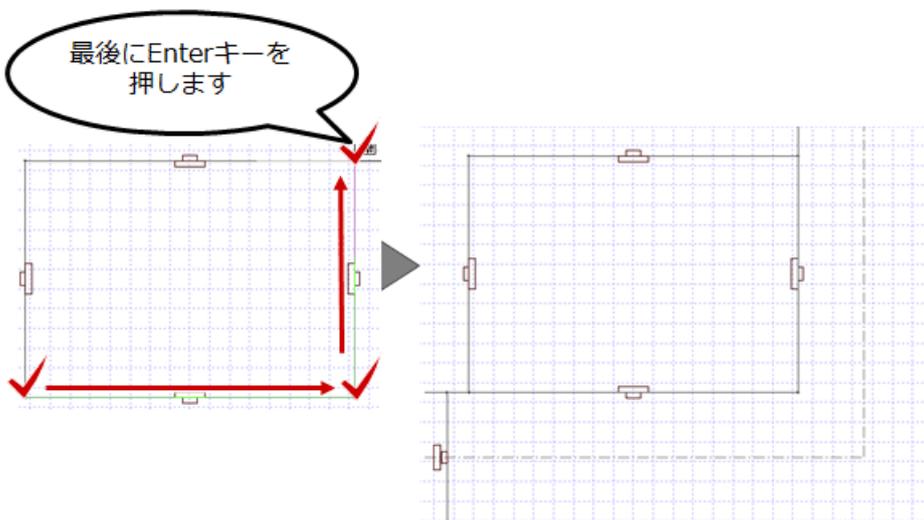
- 1 「道路」メニューから「道路」の「道路連続線」を選びます。
※「道路2点」で、始点と終点を指定して入力することもできます。



- 2 「道路入力」ダイアログの「配置基準」「道路幅」などを設定します。



- 3 敷地の角を順にクリックして、最後に Enter キーを押します。



配置図



歩道、側溝、水路の入力方法を教えてください。



道路の入力に使用したコマンドによって操作方法が異なります。「道路」メニューの「道路」から入力した場合は属性変更で、「パス用道路」から入力した場合は「歩道」「側溝」を使用します。



「道路」メニューの「道路」から入力した場合

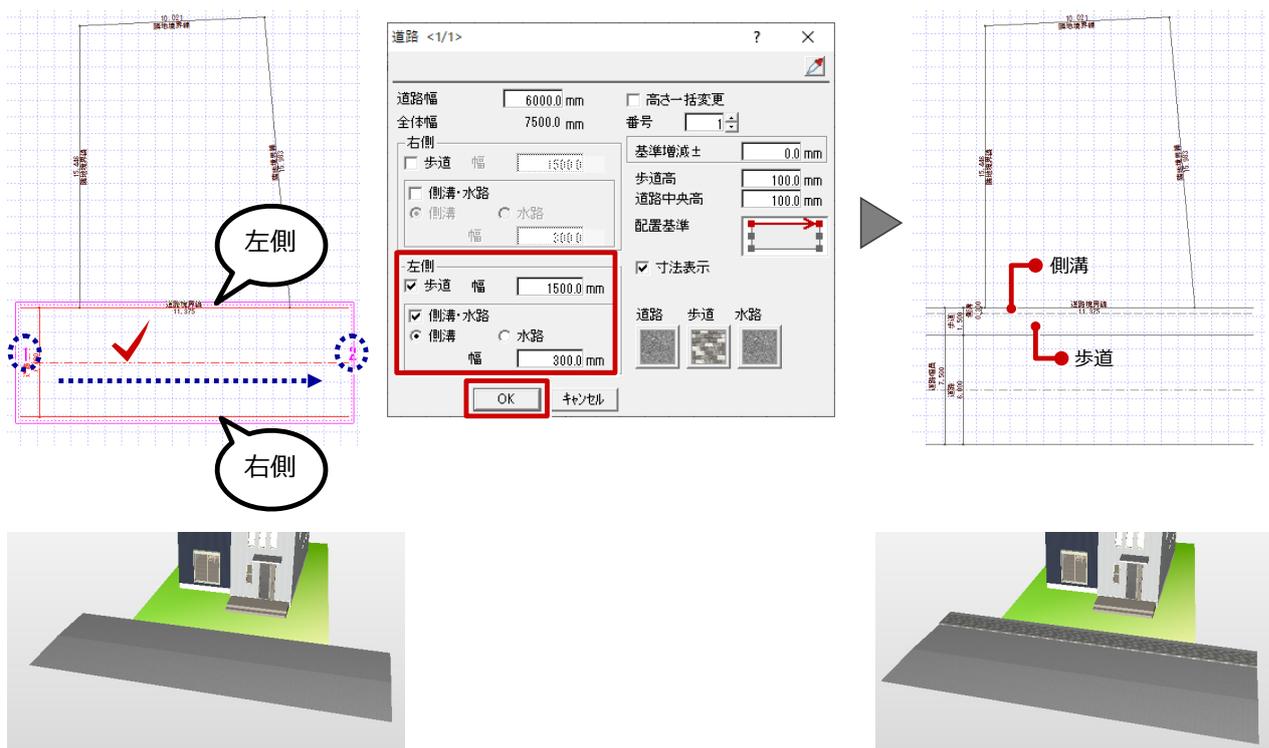
1 「属性変更」をクリックします。



2 道路をクリックします。

3 「道路」ダイアログの「歩道」「側溝・水路」「側溝」をONにし、「幅」を設定して、「OK」をクリックします。

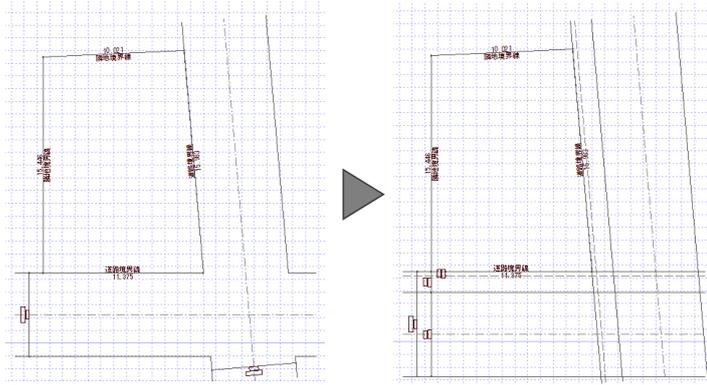
※「右側」「左側」は、道路の始点から終点に向かって右側・左側になります。





道路が2方向の場合

・「道路」メニューの「道路」の「道路自動配置」で入力した2方向の道路にそれぞれ歩道、側溝、水路を設定すると、道路の包絡が解除されます。

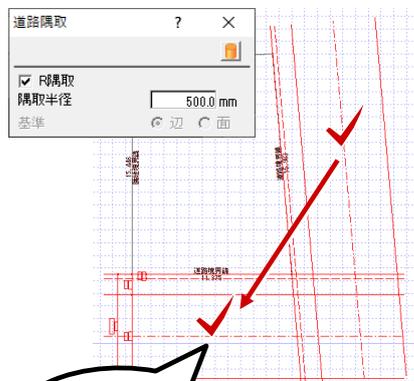


【側溝・歩道無し】

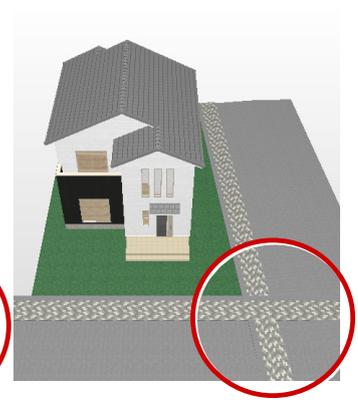
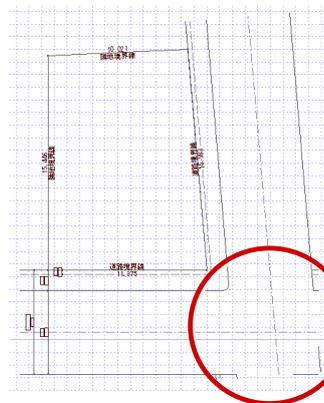
【側溝・歩道あり】

この場合は、「道路」メニューから「道路」の「道路包絡」を選んで、道路を順にクリックし、最後に Enter キーを押すと、交差する部分が包絡されます。

※ ただし、パースモニタには包絡処理は反映されません。



最後にEnter
キーを押す



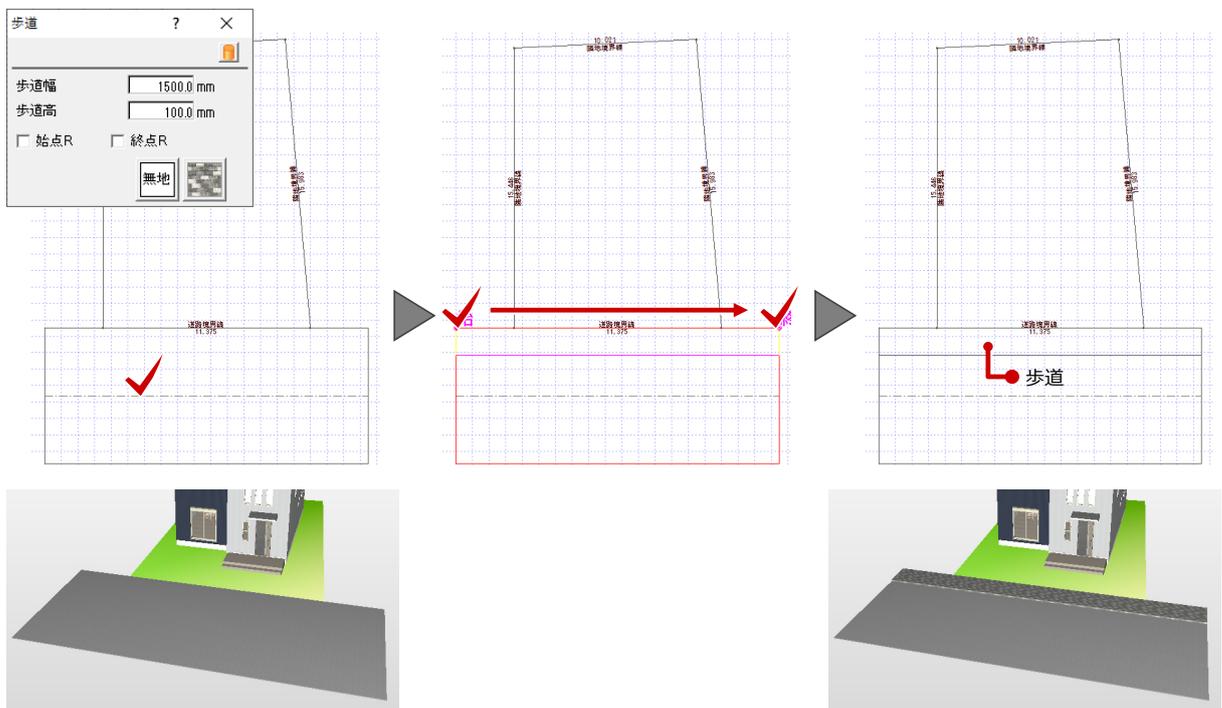
「道路」メニューの「パース用道路」から入力した場合

- 1 「道路」メニューから「パース用道路」の「歩道」を選びます。



- 2 「歩道」ダイアログの「歩道幅」や「歩道高」などを設定して、道路をクリックします。

- 3 歩道の始点と終点をクリックします。



- 4 「道路」メニューから「パース用道路」の「側溝」を選びます。



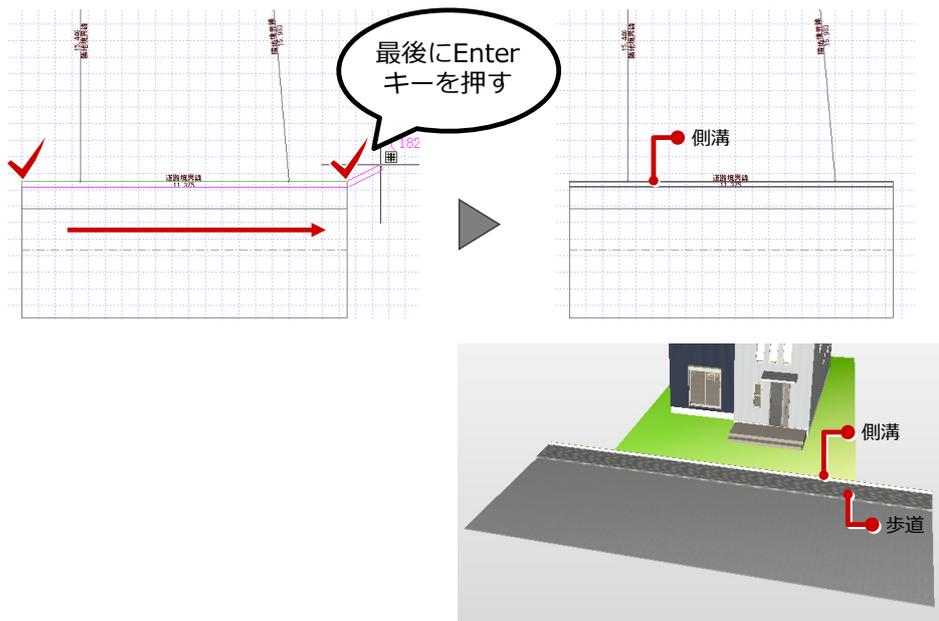
- 5 ここでは歩道に埋もれないように「側溝」ダイアログの「基準高」を「110」に設定します。また、「ふた」を「あり」にして、ふたの素材を変更します。



- 6 入力方法を「多角円形」に変更します。



- 7 側溝の入力位置を順にクリックし、最後に Enter キーを押します。



配置図

Q

幅員の異なる道路の入力方法を教えてください。

A

「道路」メニューの「パース用道路」の「道路連続線」で、道路の領域を囲って作成します。

- 1 「道路」メニューから「パース用道路」の「道路連続線」を選びます。



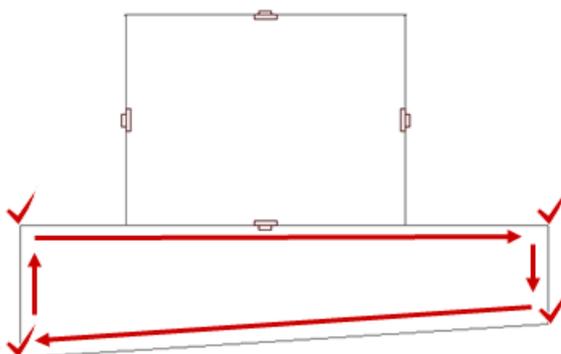
- 2 「道路連続線」ダイアログの「多角形」をONにして、「道路多角形」ダイアログに切り替えます。



- 3 「操作モード切替」を「多角円形」に切り替えます。



- 4 道路の領域を順にクリックします。



・設定した道路幅員は、斜線制限などの計算には連動しません。



道路境界線の設定方法を教えてください。



「敷地」メニューの「敷地境界線」の「個別設定」、または敷地の属性変更で設定します。

※ 設定した道路境界線の設定は、立面図、法規 LVS、天空率など他の図面へ連動します。

個別設定から設定する方法

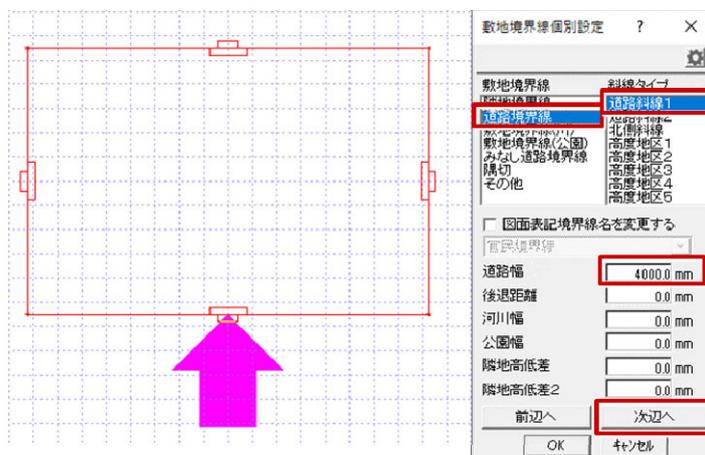
- 1 「敷地」メニューから「敷地境界線」の「個別設定」を選びます。



- 2 道路境界線に設定する敷地辺をクリックします。

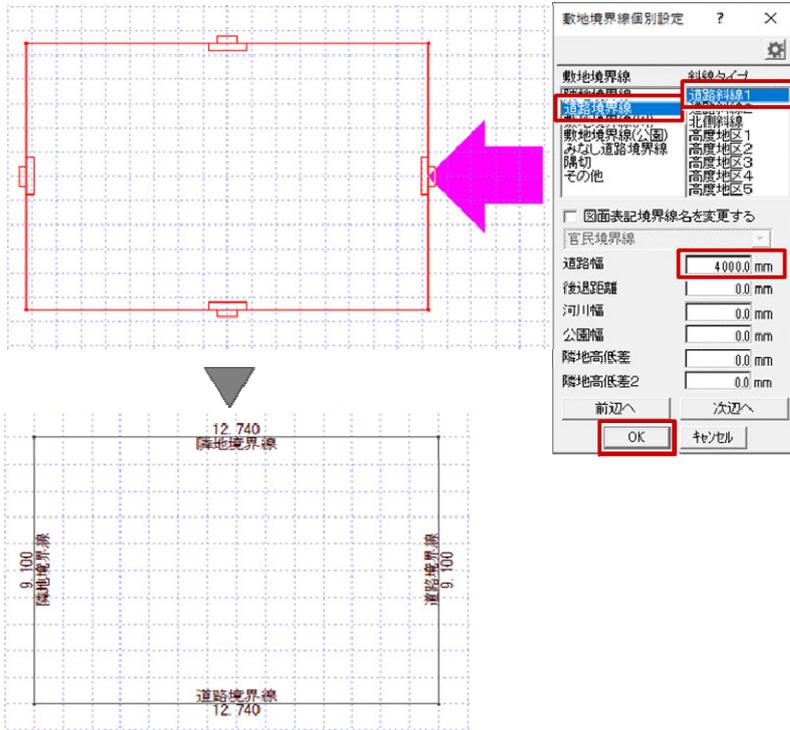
- 3 「敷地境界線個別設定」ダイアログの「敷地境界線」で「道路境界線」を選び、「斜線タイプ」や「道路幅」を設定します。

- 4 「次辺へ」をクリックします。



- 敷地と道路の高低差があるときは「隣地高低差」「隣地高低差 2」を入力します。反時計回りで敷地辺の始点側の高さが「隣地高低差」、終点側が「隣地高低差 2」になります。敷地の高さをメインに考えるため、敷地が道路よりも 1m 高いとき、隣地高低差は「+1000」になります。

- 5 同様に、ラバーバンドが表示されている敷地辺を道路境界線に設定します。
- 6 設定を終えたら、「OK」をクリックします。



属性変更から設定する方法

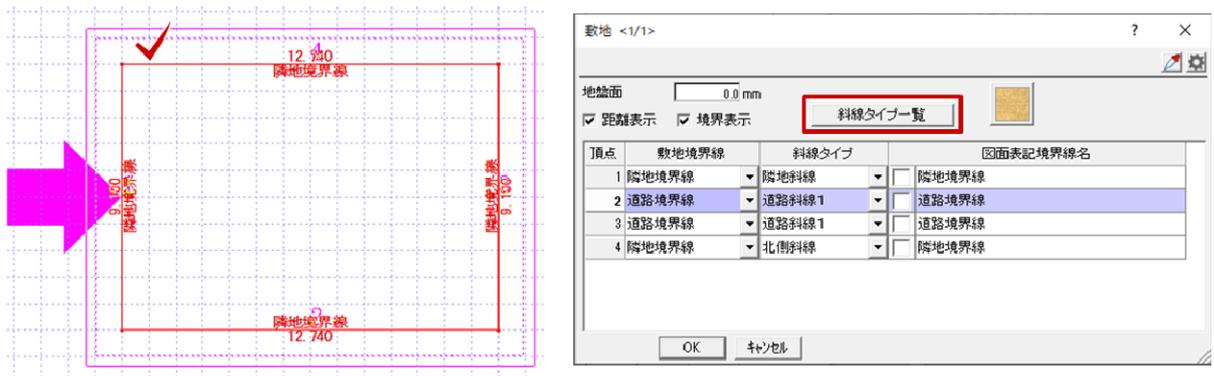
個別設定にはない、地盤面の高さ、斜線の勾配や絶対高、適用距離の設定、確認ができます。

- 1 「属性変更」をクリックします。



- 2 敷地をクリックします。

- 3 「敷地」ダイアログで各辺の敷地境界線と斜線タイプを設定し、「斜線タイプ一覧」をクリックします。



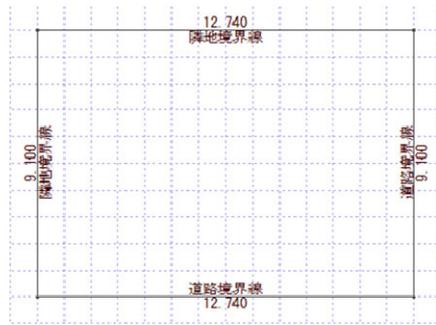
4 「斜線タイプ一覧」ダイアログで道路幅、後退距離などを設定して、「OK」をクリックします。

斜線タイプ一覧

頂点	境界線属性	斜線タイプ	勾配1	高	道路幅	後退距離	適用距離	河川幅	公園幅	隣地高低差	隣地高低差2
1	隣地境界線	隣地斜線	125					0.0	0.0	0.0	0.0
2	道路境界線	道路斜線1	125		4000.0	0.0	20m	0.0	0.0	0.0	0.0
3	道路境界線	道路斜線1	125		4000.0	0.0	20m	0.0	0.0	0.0	0.0
4	隣地境界線	北側斜線	125					0.0	0.0	0.0	0.0

OK キャンセル

単位 (mm)



配置図

Q

みなし道路の設定方法を教えてください。

A

「敷地」メニューの「敷地境界線」の「みなし道路」を使用して、みなし道路境界線を設定します。

敷地境界線属性の道路幅を確認する

- 1 「属性変更」をクリックします。



- 2 敷地をクリックして、「敷地」ダイアログの「斜線タイプ一覧」を選びます。

- 3 「斜線タイプ一覧」の「道路幅」を現在の道路幅に設定します。

敷地境界線属性ダイアログの「斜線タイプ一覧」タブは、以下の通り表示されます。

頂点	敷地境界線	斜線タイプ	図面表記境界線名	
1	隣地境界線	北側斜線	隣地境界線	
2	道路境界線	道路斜線1	道路境界線	
3	道路境界線	道路斜線1	道路境界線	
4	隣地境界線	北側斜線	隣地境界線	

斜線タイプ一覧ダイアログの「道路幅」欄は、以下の通り表示されます。

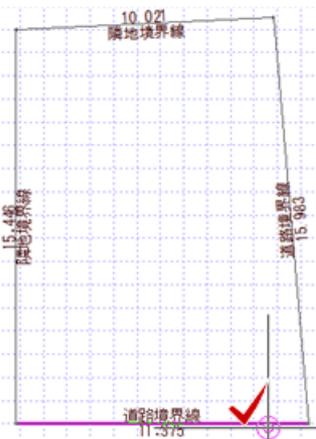
頂点	境界線属性	斜線タイプ	勾配1	勾配2	立上1	立上2	絶対高	道路幅	後退距離
1	隣地境界線	北側斜線	125		5m		10m		
2	道路境界線	道路斜線1	125				10m	2500.0	0.0
3	道路境界線	道路斜線1	125				10m	0000.0	0.0
4	隣地境界線	北側斜線	125		5m		10m		

みなし道路を設定する

- 1 「敷地」メニューから「敷地境界線」の「みなし道路」を選びます。



- 2 対象の道路境界線をクリックします。



- 3 「みなし道路境界線」ダイアログの「みなし道路幅」を「4000」、「みなし道路境界線の基準」は「中心」をONにして、「OK」をクリックします。
 ※「みなし道路幅」には拡張する道路全体の幅を設定します。
 ※ 道路の反対側が川または崖の場合、「みなし道路境界線の基準」の「反対側」をONにします。



敷地境界線は「その他」に設定されます。

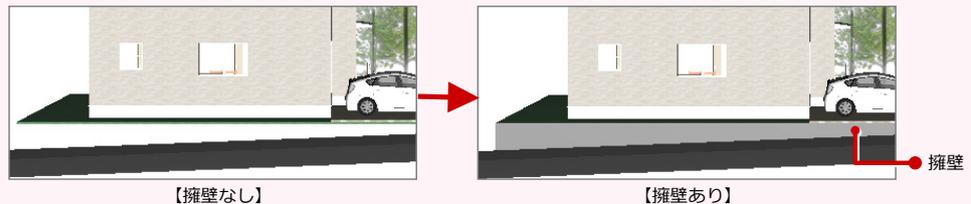
配置図

Q

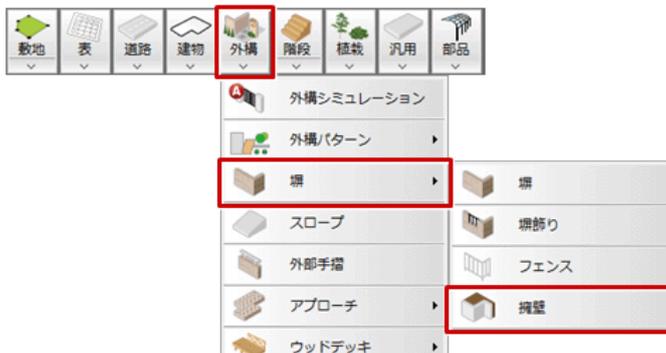
道路を下げたときにできる敷地と道路の隙間を埋める方法を教えてください。

A

「外構」メニューの「塀」の「擁壁」を使用して隙間を埋めます。



1 「外構」メニューから「塀」の「擁壁」を選びます。



2 「擁壁」ダイアログの「敷地辺」が ON になっていることを確認します。

※「敷地辺」は、敷地辺に沿って、敷地と擁壁外面が合うように擁壁を入力します。

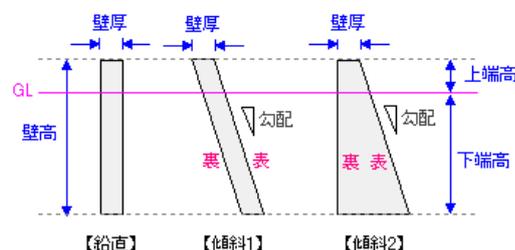
3 擁壁の形状や配置タイプを選びます。

ここでは、「鉛直」「上端：指定 下端：検索」を選び、「上端高」を「0」に変更します。

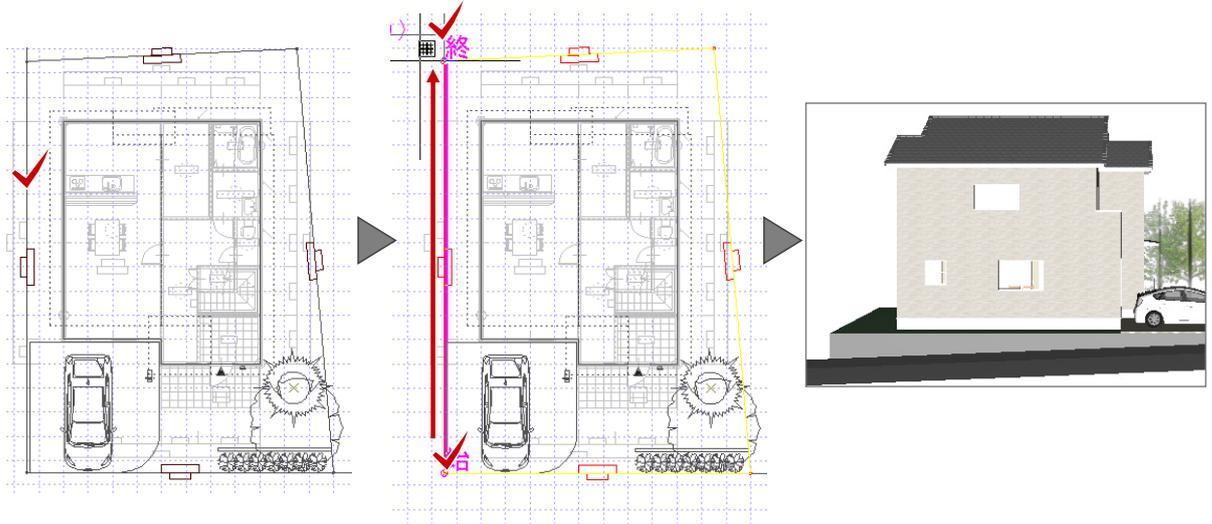


上端：指定 下端：指定	擁壁の上端高と下端高を指定します。
上端：指定 下端：検索	擁壁の上端高を指定して、下端は自動検索します。
上端：壁高 下端：検索	擁壁の壁高を指定して、下端は自動検索します。

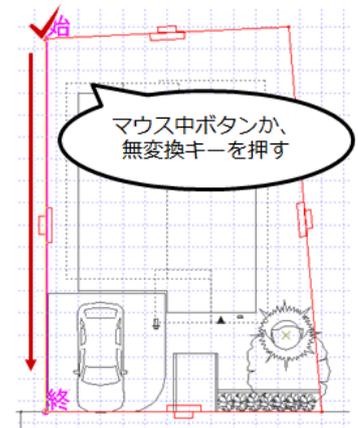
※ 検索対象は、敷地、傾斜敷地、敷地高低差、道路です。
道路などの傾斜に対して擁壁を入力する場合は、下端検索を使用すると便利です。



4 敷地をクリックして、時計回りに始点位置と終点位置をクリックします。



- ・手順 4 で逆回りするには、始点位置をクリックした後、マウスの中ボタンか無変換キーを押します。



- ・敷地辺以外の場所に擁壁を入力したいときは、「擁壁」ダイアログの「個別」を ON にして入力します。



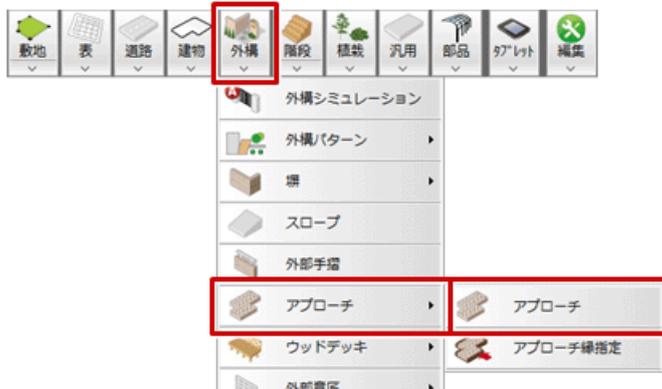


アプローチを傾斜にする方法を教えてください。



「外構」メニューの「アプローチ」の「アプローチ」を使用して、3つの頂点の高さを指定して傾斜にします。

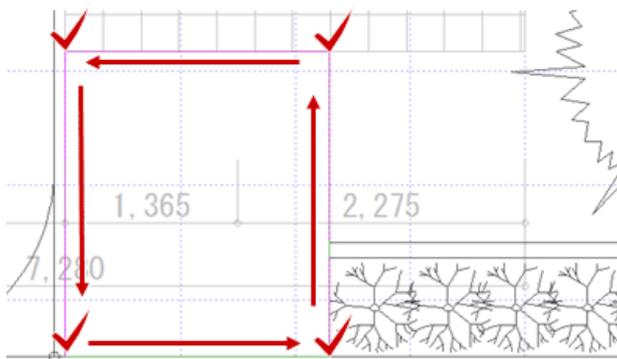
1 「外構」メニューから「アプローチ」の「アプローチ」を選びます。



2 アプローチ」ダイアログの「3点」をONにして、「上端高1」「上端高2」「上端高3」を設定します。



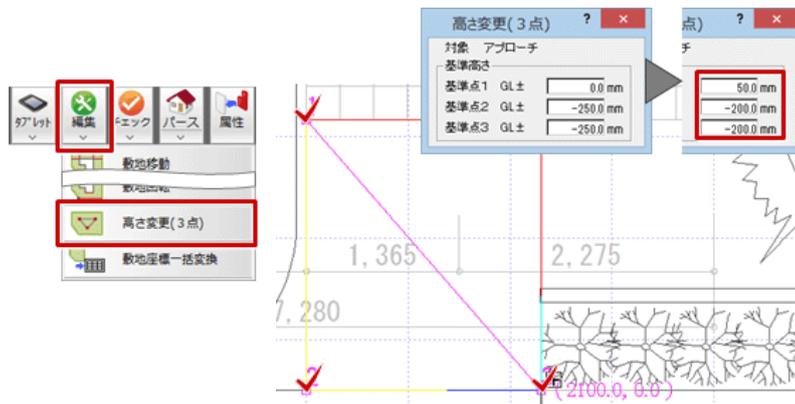
3 アプローチの領域を指定します。
※ 縁を設定する場合は、「縁」をONにします。



4 設定した3つの高さの位置を順にクリックします。



- ・入力済みのアプローチの高さを変更する場合は、「編集」メニューの「高さ変更(3点)」を使用して、「高さ変更」ダイアログで高さを変更し、もう一度基準点1、基準点2、基準点3をクリックします。



配置図

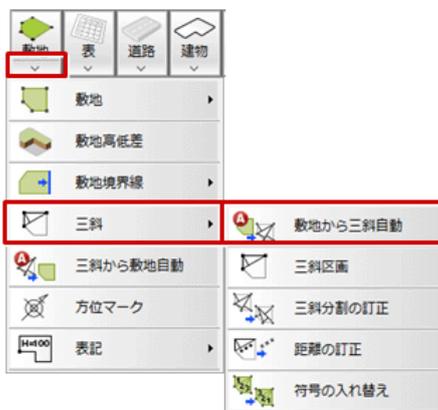


三斜区画と敷地面積表の作成方法を教えてください。

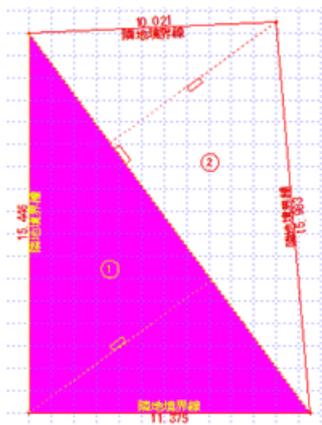


「敷地」メニューの「三斜」の「敷地から三斜自動」を使用して、敷地データから三斜区画と敷地面積表を作成します。

1 「敷地」メニューから「三斜」の「敷地から三斜自動」を選びます。



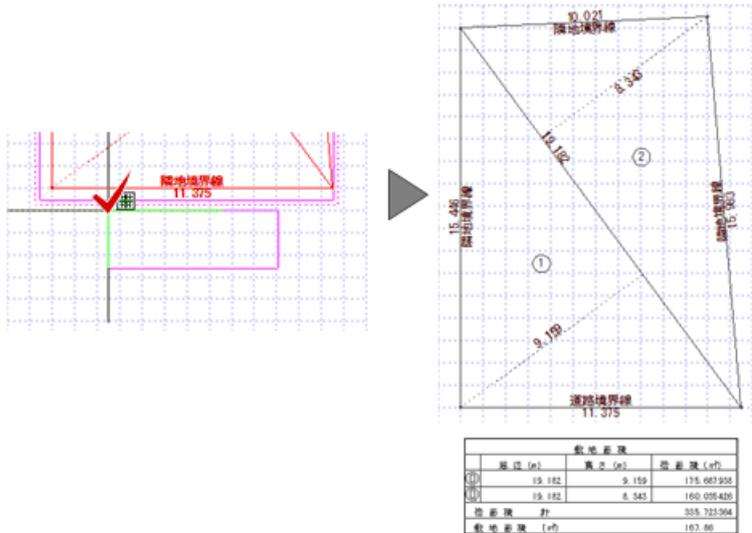
2 三斜区画が作成され、「敷地面積表」ダイアログが開きます。確認して、「OK」をクリックします。



符号	底辺(m)	高さ(m)	倍面積(m ²)
1	19.182	9.159	175.687938
2	19.182	8.343	160.035426
倍面積 計			335.723364 (m ²)
面積 計			167.86 (m ²) (50.77 (坪))

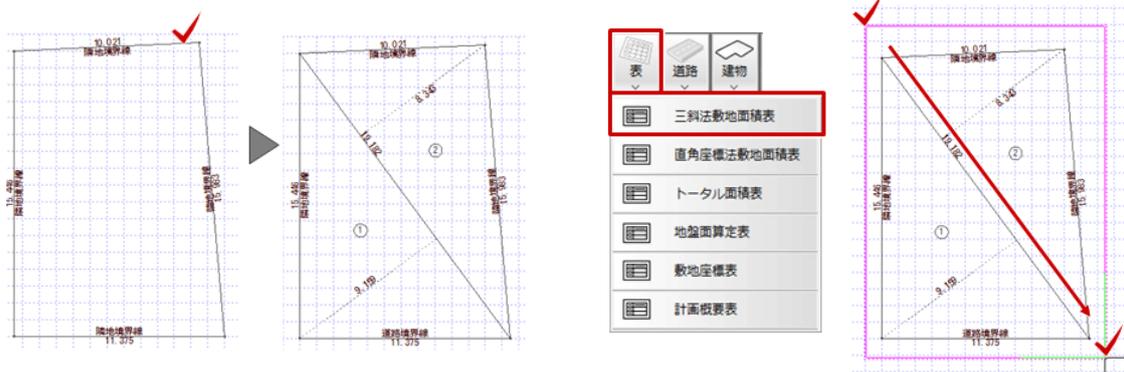
OK キャンセル

3 敷地面積表の配置位置をクリックします。

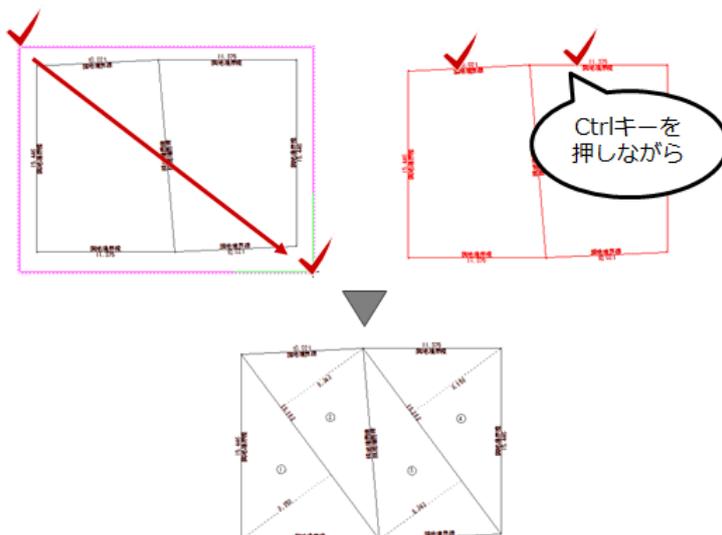


敷地が複数入力されている場合

- 手順 1 の「敷地から三斜自動」コマンドを実行後、三斜区画を作成する敷地をクリックします。その後、「表」メニューから「三斜法敷地面積表」を選んで敷地全体を囲うと、手順 2 の状態になります。



- 「敷地から三斜自動」コマンドで、隣接する複数の敷地に三斜区画を作成したい場合は、手順 1 の後に全体を囲むか、Ctrl キーを押しながら敷地を複数選択して Enter キーを押します。



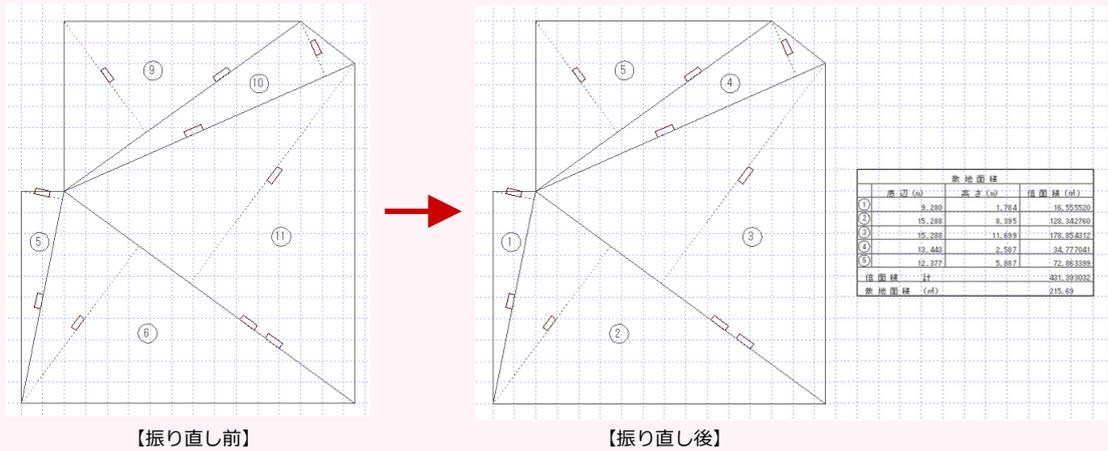
- 「三斜法敷地面積表」コマンドを選択したとき、敷地が複数配置されている、または三斜区画のみ配置されていて敷地が存在しない場合には、必要な対象を範囲指定して囲むか、Ctrl キーを押しながら複数選択して Enter キーを押します。

Q

三斜区画を入れ直しました。符号が通し番号になるように再設定する方法を教えてください。

A

「表」メニューの「三斜法敷地面積表」を使用して、面積表を作成するときに符号番号の再設定ができます。



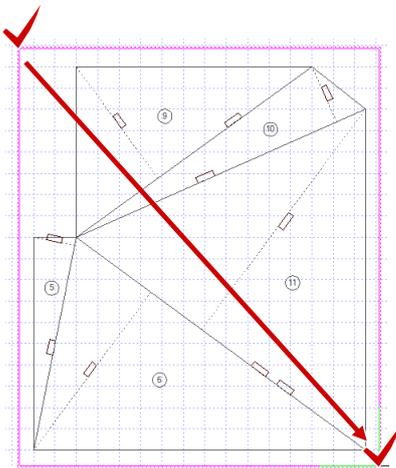
1

「表」メニューから「三斜法敷地面積表」を選びます。

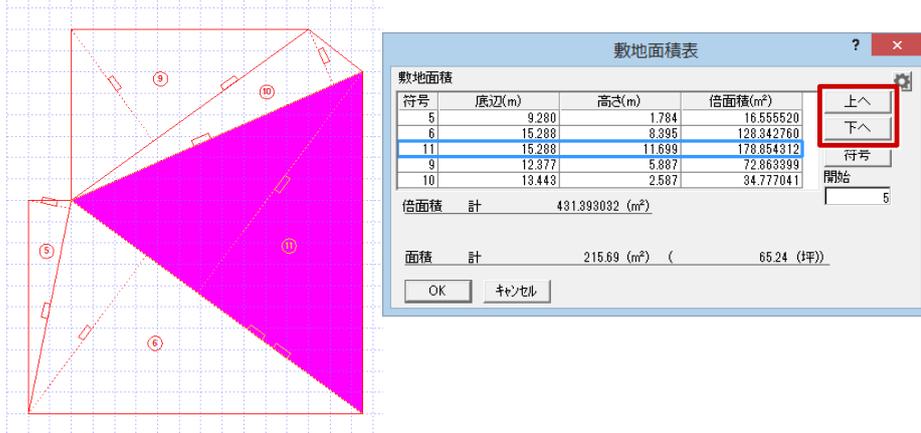


2

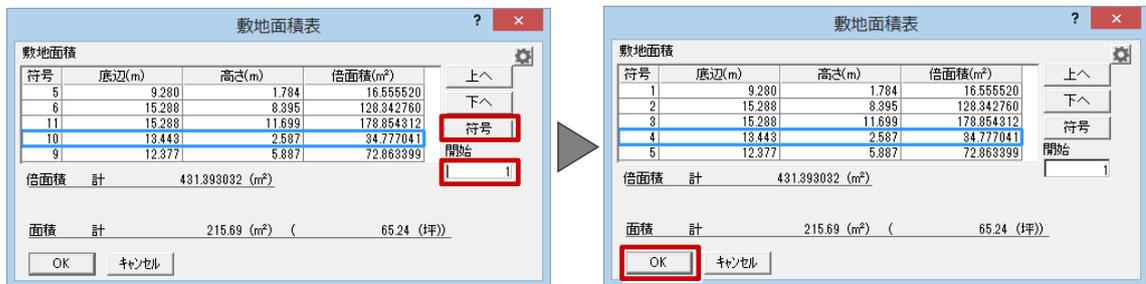
三斜区画の範囲を指定します。



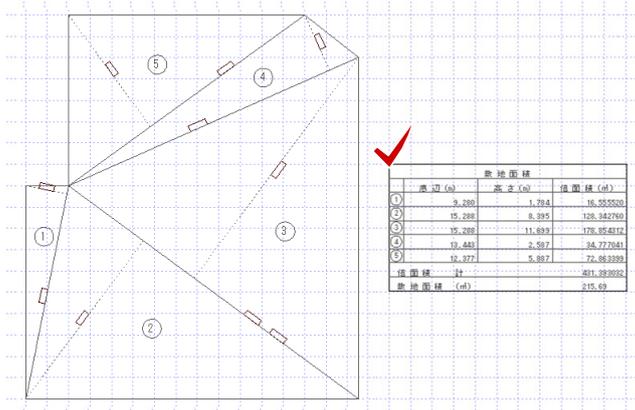
3 「敷地面積表」ダイアログの「上へ」、「下へ」で順序を並び替えます。



4 「開始」に開始番号を設定して、「符号」をクリックします。



5 「OK」をクリックして、面積表の配置位置をクリックします。区画の符号が再設定されます。



配置図



直角座標法の面積表を作成する方法を教えてください。



「表」メニューの「直角座標法敷地面積表」で作成できます。

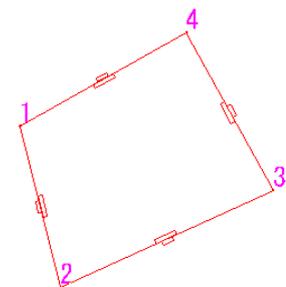
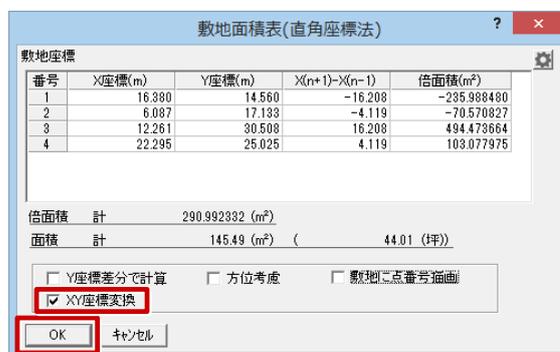
敷地面積(直角座標法)				
番号	X座標(m)	Y座標(m)	X(n+1)-X(n-1)	倍面積(m ²)
1	16.380	14.560	-16.208	-235.988480
2	6.087	17.133	-4.119	-70.570827
3	12.261	30.508	16.208	494.473664
4	22.295	25.025	4.119	103.077975
基準	6.370	10.010	倍面積計	290.992332
敷地面積(m ²)				145.49

1 「表」メニューから「直角座標法敷地面積表」を選びます。

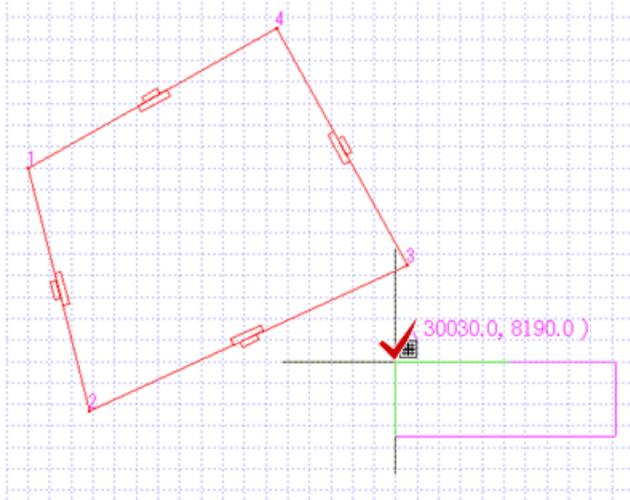


2 敷地座標入力をしたときの基準点をクリックします。
※ 基準点がわからない場合は任意の点をクリックします。

3 各点のX座標、Y座標を確認し「XY座標変換」をONにして、「OK」をクリックします。
※ 基準点がわからない場合や、敷地を移動、回転をしている場合は座標値が変わるため手入力してください。



4 表の配置位置をクリックします。



敷地面積(直角座標法)				
番号	X座標(m)	Y座標(m)	X(n+1)-X(n-1)	倍面積(m ²)
1	16.380	14.560	-16.208	-235.988480
2	6.087	17.133	-4.119	-70.570827
3	12.261	30.508	16.208	494.473664
4	22.295	25.025	4.119	103.077975
基準	6.370	10.010		290.992332
敷地面積(m ²)				145.49



- 敷地座標入力をするときの座標値が入力範囲を超えて設定していると、相対座標に置き換わります。座標値が変わるため、表の座標値は手入力する必要があります。
- 「表」メニューの「敷地座標法」で作成した敷地座標を選択しても、直角座標法の敷地面積表を作成できます。

敷地座標		
番号	X座標(m)	Y座標(m)
1	14.560	16.380
2	17.133	6.087
3	30.508	12.261
4	25.025	22.295
基準	10.010	6.370

敷地面積表(直角座標法)

敷地座標

番号	X座標(m)	Y座標(m)	X(n+1)-X(n-1)
1	16.380	14.560	-16.2
2	6.087	17.133	-4.1
3	12.261	30.508	16.2
4	22.295	25.025	4.1

倍面積 計 290.992332 (m²)

面積 計 145.49 (m²)

Y座標差分で計算 方位考慮 敷地
 XY座標変換

敷地面積(直角座標法)				
番号	X座標(m)	Y座標(m)	X(n+1)-X(n-1)	倍面積(m ²)
1	16.380	14.560	-16.208	-235.988480
2	6.087	17.133	-4.119	-70.570827
3	12.261	30.508	16.208	494.473664
4	22.295	25.025	4.119	103.077975
基準	6.370	10.010		290.992332
敷地面積(m ²)				145.49

配置図

Q

平均地盤面の出し方について教えてください。

A

「表」メニューの「地盤面算定表」を使用して、平均地盤面の高さを算出します。

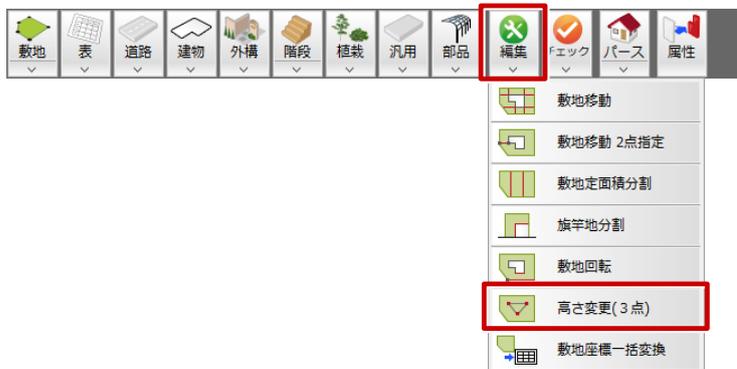
※ 平均地盤面高さを算出するには、敷地と建物区画が入力されている必要があります。



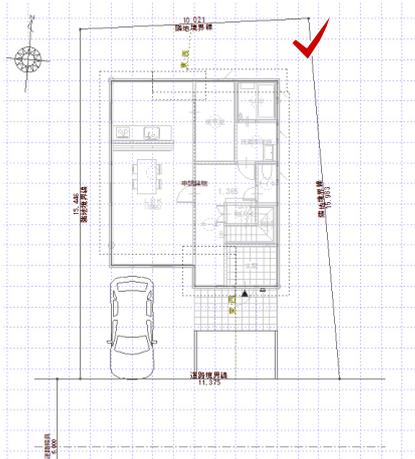
地盤面算定表			
区間	符号	計算式(m)	面積(m ²)
1 - 2	イ	0.427×7.280	3.109
2 - 3	ロ	$(0.427 + 0.133) \times 9.100 \div 2$	2.548
3 - 4	ハ	0.133×3.640	0.484
4 - 5	ニ	$(0.133 + 0.162) \times 0.910 \div 2$	0.134
5 - 6	ホ	0.162×3.640	0.590
6 - 1	ヘ	$(0.162 + 0.427) \times 8.190 \div 2$	2.412
計			9.277
面積	計		9.277
周长	計		32.760
地盤面(平均) = $9.277(\text{m}^2) \div 32.760(\text{m})$ = $0.283(\text{m})$ = $\text{BM}+0.283(\text{m})$			

敷地に高低差を設定する

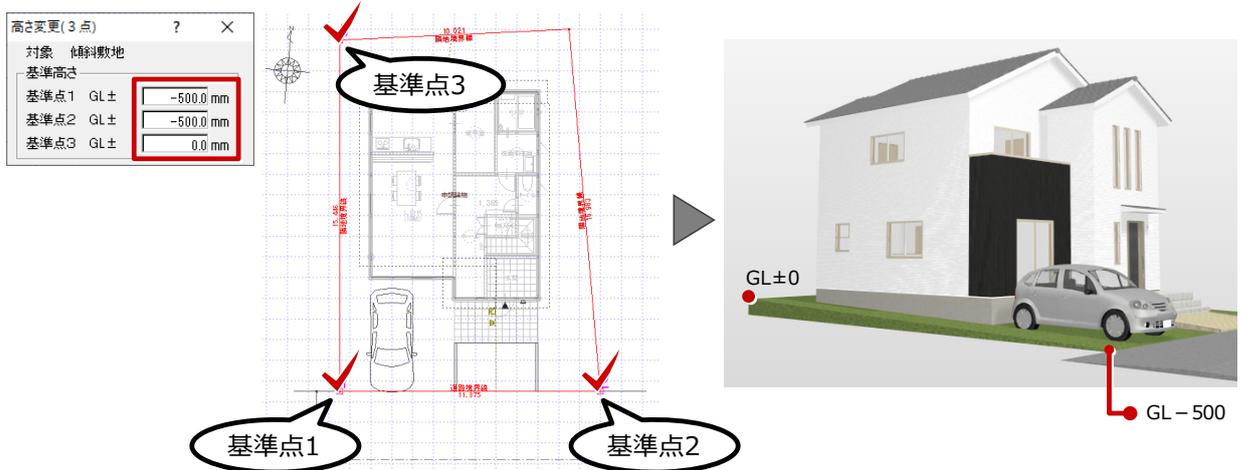
1 「編集」メニューから「高さ変更(3点)」を選びます。



2 敷地をクリックします。



3 「基準点1」～「基準点3」に敷地の高さを設定し、各点の位置をクリックします。



基準 BM の高さを設定する

1 「設定」をクリックします。



2 「専用初期設定：丸め・マーク設定－設定2」の「基準 BM」に、ベンチマークの高さを設計 GL からの高さで設定します。

※ この基準 BM からの高さで平均地盤高を算出します。

3 「地盤面算定」で面積と距離の丸めを設定し、「OK」をクリックします。

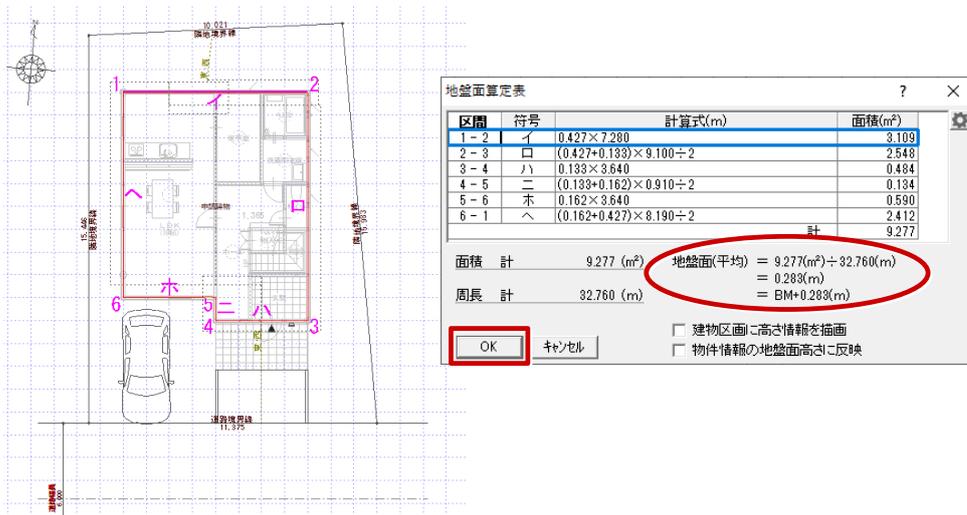


平均地盤面の高さを算出する

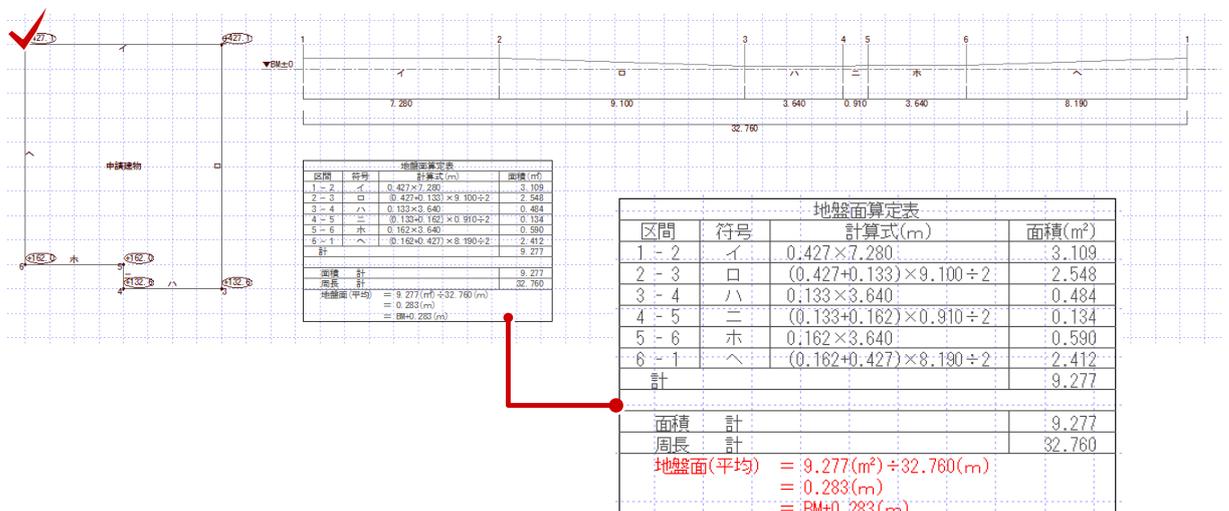
1 「表」メニューから「地盤面算定表」を選びます。



2 「地盤面算定表」ダイアログの内容を確認して、「OK」をクリックします。
 ※ 建築物が周囲の敷地と接する各位置の高さより、平均地盤面の高さを算出します。



3 地盤面算定表の配置位置をクリックします。





立面図や天空図に反映させるには

- ・「地盤面算定表」の「物件情報の地盤面高さに反映」をONにすると、「物件情報」ダイアログの「地盤高」に連動します。

区画	符号	計算式(m)	面積(m ²)
1-2	イ	0.427×7.280	3.109
2-3	ロ	(0.427+0.133)×9.100÷2	2.548
3-4	ハ	0.133×3.640	0.484
4-5	ニ	(0.133+0.162)×0.910÷2	0.134
5-6	ホ	0.162×3.640	0.590
6-1	ヘ	(0.162+0.427)×8.190÷2	2.412
計			9.277

面積 計 9.277 (m²) 地盤面(平均) = 9.277(m²)÷32.760(m) = 0.283(m)
 地盤面(平均) = BM+0.283(m)
 地盤面(平均) = 設計GL-217(mm)

建物区画に高さ情報未描画
 物件情報の地盤面高さに反映

物件情報 [変更]

物件 No 09
 物件名 福井種肉
 備考
 担当者
 物件マスタ 01: 木造
 在来木造
 ベント
 地上
 地下

情報
 地名地番
 工事場所/住居表示
 工事種別 新築
 建物階数 0 LDK
 建物奥行 0.000 m
 建物奥行 0.000 m
 外観タイプ 和風
 屋根形状 切妻
 玄関位置 東
 階数 0 LDK
 地盤高 -217 mm
 最高高さ 0.000 m

地盤高 = 基準BM + 283mm
 = (設計GL - 500) + 283
 = 設計GL - 217mm

「物件初期設定：基準高さ情報」の「地盤面を考慮」をONにして、立面図、矩計図などを作成します。

【物件初期設定：基準高さ情報】

基本 共通 **物件** 専用 お気に入り 設定ナビ 設定チェック

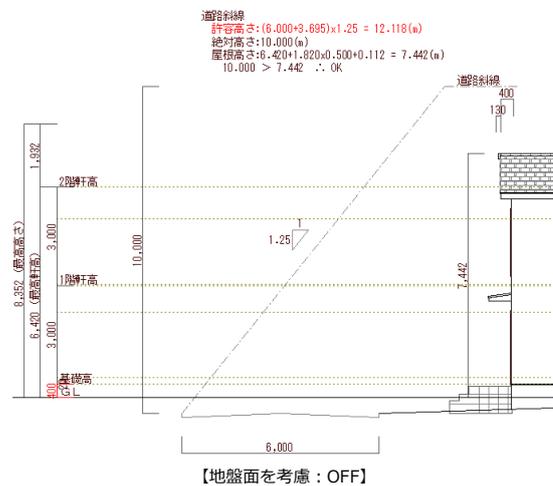
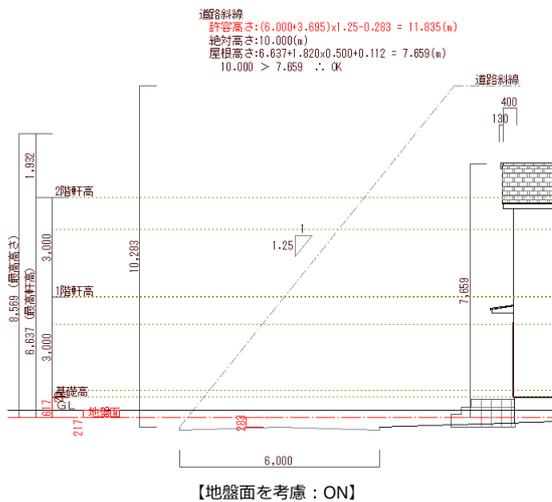
検索ワード(複数可。&付きでAND検索文字) 検索 詳細検索

すべての設定
 基本設定
 共通初期設定
 物件初期設定
 マスタ情報
 基準高さ情報
 CAD関連
 性能・地域条件
 外部標準
 外断熱
 建材マスタ
 柱・基礎・束
 壁

主構造 木 階数・構造高 根太レス工法

階数
 ベントパス 0 階
 地上 2 階
 地下 0 階

土台せい 105.0 mm
 土台下端GL± 420.0 mm
 基礎高GL± 400.0 mm
 基礎心寸厚 20.0 mm
 地盤面を考慮 地盤面GL± -217.0 mm



配置図



玄関ポーチを建築面積表に含める方法を教えてください。

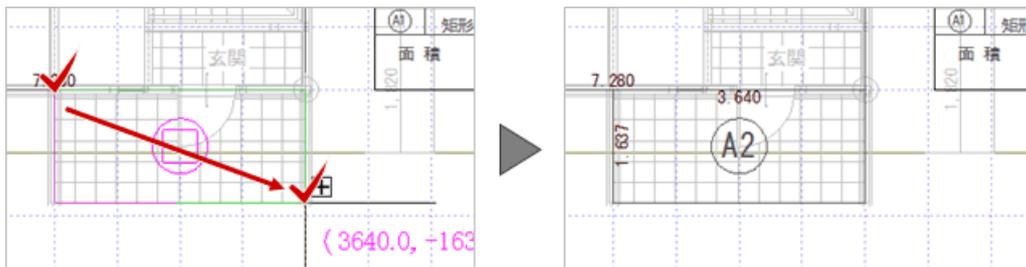


玄関ポーチの面積区画は、自動で配置されません。
「建築面積 (矩形)」でバック図面のポーチを参照して建築面積を追加します。

1 「建築面積 (矩形)」をクリックします。



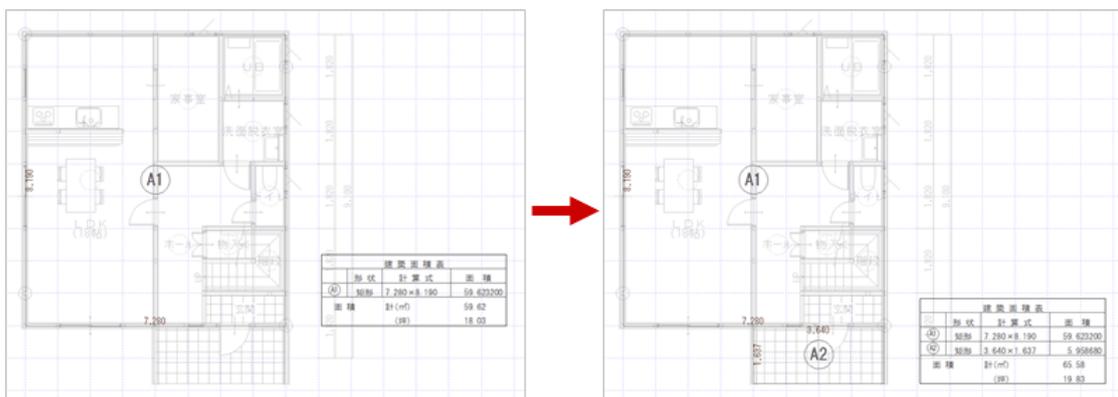
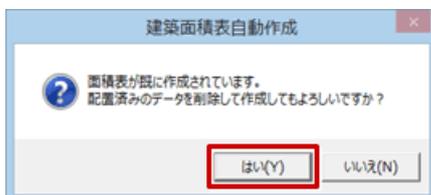
2 バック図面のポーチを参照して、追加する矩形の面積区画の対角線をクリックします。



3 「表」メニューから「建築面積表自動作成」を選びます。



4 確認画面で「はい」をクリックします。



配置図

Q

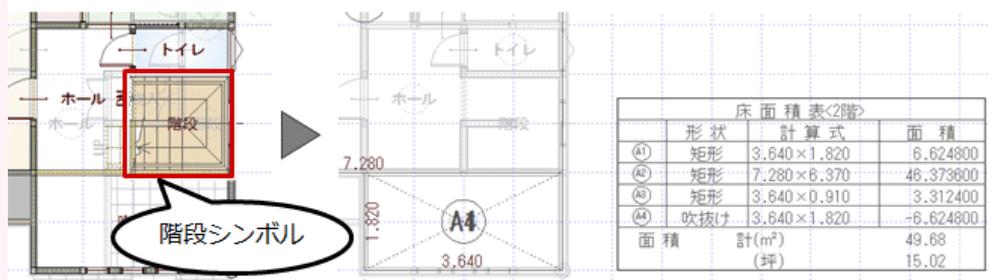
階段部分に吹抜の床面積区画が自動配置される理由を教えてください。

A

吹抜など床仕上のない部屋には吹抜の区画が自動配置されますが、部屋が「階段」(床仕上が OFF) の場合、階段シンボルが入力されていないと吹抜区画が配置されます。



【2階平面図に階段シンボルが入力されていない場合】



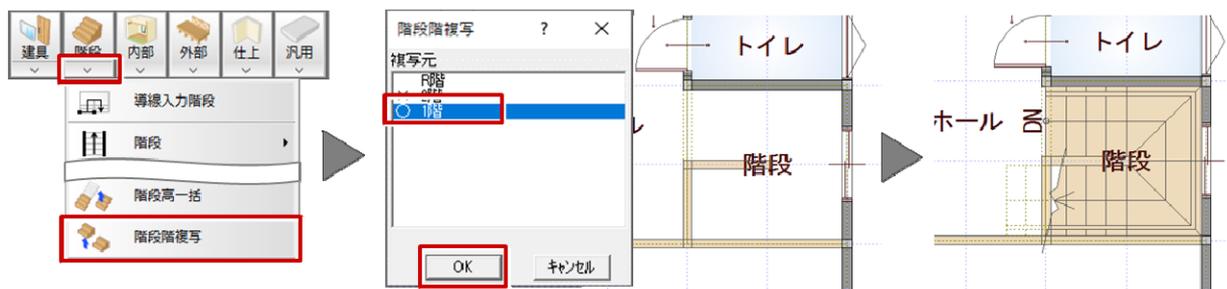
【2階平面図に階段シンボルが入力されている場合】

階段を入力して床面積区画を再配置する方法

1

2階平面図にて「階段」メニューの「階段階複写」を使って階段を複写します。

※ 1階平面図に階段が入力されていない場合は階段を入力後、2階平面図に階段を複写してください。



【2階平面図】

2 2階床面積求積図を再作成します。

The screenshot shows the software interface for creating a floor area calculation diagram. The 'Auto' button in the toolbar is highlighted. The '床面積自動配置' (Automatic Floor Area Configuration) dialog box is open, with the 'OK' button highlighted. A warning dialog box is also open, asking if the user wants to delete existing area diagrams and tables, with the 'はい' (Yes) button highlighted. The background shows a floor plan diagram with dimensions and a table of area calculations.

床面積表<2階>			
	形状	計算式	面積
(A1)	矩形	3.640 × 1.820	6.624800
(A2)	矩形	7.280 × 6.370	46.373800
(A3)	矩形	3.640 × 0.910	3.312400
(A4)	吹抜け	3.640 × 1.820	-6.624800
面積	計(m ²)		49.68
	(坪)		15.02

【2階床面積求積図】

配置図

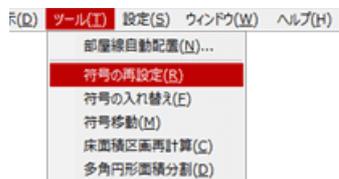


建築面積求積図、床面積求積図で、区画の符号の並び順を変更する方法を教えてください。



「ツール」メニューの「符号の再設定」を使用して、並び順を変更します。

1 「ツール」メニューから「符号の再設定」を選びます。



2 「符号の再設定」ダイアログの「開始符号」を設定します。



3 小さい番号を付けたい順に、区画と交差するように線分を指定します。最後に Enter キーを押す、またはポップアップメニューの「OK」をクリックします。





- ・配置済みの面積表の符号も再設定されますが、その並び順は自動設定されません。
面積表の属性変更ダイアログの「上へ」「下へ」で並びを入れ替えるか、面積表を再配置してください。

形状	計算式	面積
Ⓐ2 矩形	1.820×3.640	6.624800
Ⓐ4 矩形	3.640×8.190	29.811600
Ⓐ5 矩形	3.640×3.640	13.249600
Ⓐ1 矩形	3.640×5.460	19.874400
Ⓐ3 矩形	1.820×3.640	6.624800
面積	計(m ²)	76.18
	(坪)	23.04

符号	形状	計算式(m)	面積(m ²)
A2	矩形	1.820*3.640	6.624800
A4	矩形	3.640*8.190	29.811600
A5	矩形	3.640*3.640	13.249600
A1	矩形	3.640*5.460	19.874400
A3	矩形	1.820*3.640	6.624800
面積	計	76.18 (m ²)	(23.04 (坪))
容積延面積	計	76.18 (m ²)	(23.04 (坪))

【属性変更で並び順を変更する場合】

<p>面積表が既に作成されています。 配置済みのデータを削除して作成してもよろしいですか？</p> <p>はい (Y) いいえ (N)</p>

【面積表を再配置する場合】

配置図

Q

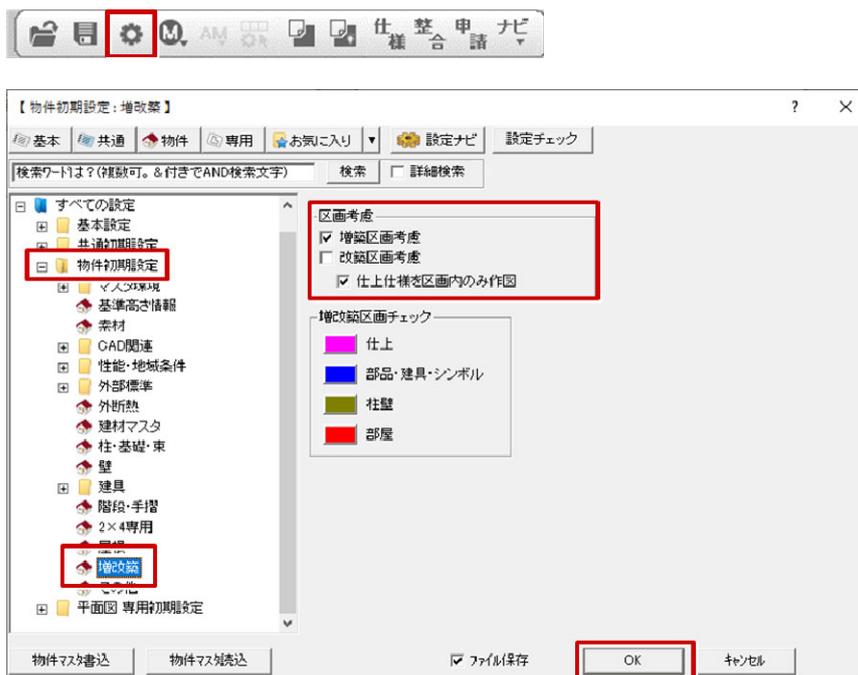
増築部分だけの床面積表を作成する方法を教えてください。

A

「床面積自動配置」の「増改築領域を考慮する」をONにして区画を入力した後、「表」メニューの「床面積表自動作成」を使用して、増築部分だけの床面積表を作成します。

形状	増改築	計算式	面積
(a) 矩形	増築	3,640×3,640	13,249,600
面積	計(m ²)		(坪)
増築	13.24		4.00
合計	13.24		4.00

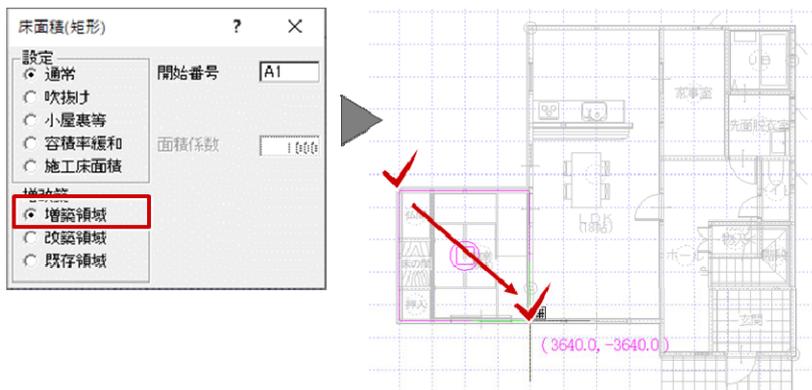
- 1 「物件初期設定：増改築」の「増築区画考慮」や「改築区画考慮」がONになっていることを確認します。



- 2 「床面積（矩形）」をクリックします。
 ※ 増築区画の形状に合わせたコマンド（円、弓型、多角形）を選んでください。



- 3 「床面積（矩形）」ダイアログの「増築領域」を選んで、増築部分に区画を入力します。



- 4 「表」メニューから「床面積表自動作成」を選びます。



- 5 増築区画だけの面積表が作成されます。移動などして表を配置します。

